



2022 年度 事業報告書



神戸 YWCA 保育園

公益財団法人 神戸 YWCA

目次

YWCAの使命（ミッション）	1
事業報告	
Ⅰ．平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）	2
世界・社会委員会	
環境・くらし委員会	
ユース・エンパワメント委員会	
＜グループ＞	
愛農人倶楽部	
声の奉仕	
讚美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
ジェンダーグループ	
ピース・ブリッジ（Peace Bridge）	
文学講座	
平和活動グループ	
マザースカレッジ企画会	
夜回り準備会	
わいわい科学クラブ	
アフタヌーン・ティー	
現代史勉強会いもづる	
Ⅱ．総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）	15
神戸YWCAまごの手	
神戸YWCA保育園	
神戸YWCAつどい場	
カフェもぐもぐ	
ちやいやあらんど	
弓の木歌の集い	
わいわいダイルーム	
木曜カフェ	
わいわい食事会	
Ⅲ．多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）	26
神戸YWCA学院	
（日本語コース・日本語教師養成コース・外国語コース・地域福祉コース・文化教養コース）	
多文化共生ボランティア部	
Ⅳ．活動共通事業	29
運営委員会	
定期会員集会準備会	
指名委員会	
会員委員会	
キリスト教基盤委員会	
100周年記念事業実行委員会（記念誌プロジェクト）	
Ⅴ．広報・ファンドレイジング	33
機関紙編集委員会	
ファンドレイジング実行委員会	
Ⅵ．法人	35
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	38
2022年度公益財団法人神戸YWCA組織図 / 評議員・理事・監事・運営委員・職員	39
決算報告書	41
監査報告書	55



アナログゲーム大会 (こどもいいんかい)



神福のはしごプロジェクト (セカンドハウス)



ガレージセール



定住外国人向け日本語・就業カスキルアップコース (日本語コース)

YWCA の使命（ミッション）

第 33 総会期

日本 YWCA 全国会員総会決議

主題聖句

「平和を実現する人々は幸いである」 - マタイによる福音書 5 章 9 節 -

ビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。

2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。

4. セーフスペース

会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸 YWCA ビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

神戸 YWCA 2022 年度活動目標

つながりの意味を深め、共に動こう

事業報告

I 平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心に実施していく。

世界・社会委員会

●活動方針・目標

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

日本市民社会の民主主義を見直す～日本の「民主」社会は外国人とどう生きているのか

代表 宮田泰子
メンバー 4人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：外国人と共に生きる、より良い日本の姿を考える。

年間目標：在日韓国人や在住外国人に関する法や制度を知り、問題を明らかにする。

●活動報告

今年度の企画のきっかけは、会員の親戚の高校生が記した作文を読んだことだった。彼女の父親は在日韓国人であり、現在の日本では選挙権はなく、そのことへの憤りが記されていた。委員会メンバーは彼女をメンバーに迎え、共に「外国人と共に生きる、よりよい日本の姿を考える」プロジェクトをスタートさせた。

6月、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに声明文を出した神戸市外国語大学ロシア学科の教授陣のひとり、金子百合子教授に、声明文に込めた思い、その背景、現在の感じていることについてオンラインで話を聞いた。7月には、「在日韓国・朝鮮人在留資格の変遷、世界における外国人参政権について」勉強会を行った。10月には、NHKスペシャル「夢見た国で～技能実習生が見たニッポン」を視聴し、今後の具体的な企画について意見交換、協議した。2023年3月21日に、オンライン講演会「日本は外国人とどう生きているのか～技能実習制度を知っていますか～」(神戸大学大学院国際協力研究科・斎藤善久准教授)を開催し、見逃し配信を含めて48人が参加した。

●活動実績

開催日	ミーティング (全てオンライン)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月28日	第1回ミーティング	企画の確認、メンバー募集	5	48 (全9回)	5
5月23日	第2回ミーティング	神戸市外国語大学ロシア学科の声明文を共有、勉強会の検討	3		
5月28日	第3回ミーティング	全体企画とスケジュールの確認、メンバーの思い等の共有	6		
10月21日	第4回ミーティング	NHK特集「夢見た国で」鑑賞、下半期プログラムについて検討	6		
11月27日	第5回ミーティング	「技能実習制度」の現実について学び、日本の民主主義が外国人とどう生きているのかを考え発信するプログラムを検討	5		
12月26日	第6回ミーティング	オンライン講演会の内容、役割分担、広報などを検討 2023年度活動計画の検討	5		
1月13日	第7回ミーティング	オンライン講演会のチラシ作成	6		
2月3日	第8回ミーティング	オンライン講演会講師との打ち合わせ内容の確認、広報先の確認	6		
2月14日	第9回ミーティング	オンライン講演会講師との打ち合わせ	6		

開催日	プログラム・イベント名 (場所など)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月24日	内部勉強会 「神戸市外国語大学ロシア学科 声明文について」(オンライン)	ロシアのウクライナ侵攻に際して発信した声明文の背景と込められた思いを聞く	神戸市外国語大学 ロシア学科教授 金子百合子	5

7月9日	内部勉強会 「在日韓国・朝鮮人在留資格の変遷、 世界における外国人参政権について」 (神戸YWCA会館)	在留資格に関する法律の 変遷等について学ぶ	世界・社会委員会 メンバー	6
3月21日	オンライン講座 「日本は外国人とどう生きているの？ ～技能実習制度を知っていますか～」	技能実習制度の現実について学ぶと 共に、日本の民主主義が外国人と どう生きているのか、その根底にある 日本人の人権意識について考える	斉藤善久 (神戸大学大学院 国際協力研究科 准教授)	48
延参加人数 (全3プログラム)				59

環境・くらし委員会

●活動方針・目標

SDGs (持続可能な開発目標)、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

QOL 向上プロジェクト

代表 岩切幸子、金本美子
メンバー 1人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：防災について学びくらしに活かす。

内容：・防災センターなどの現地見学や体験学習、防災ワークショップなどを通して防災意識を高め、日常生活に活かすヒントを得る。
・オンラインと対面学習を組み合わせる。

●活動報告

5月22日に、「^{こうふく}神福のはしごプロジェクト」と合同で「環境・くらし委員会」を開催。日本YWCA「カーロふくしま」のスタッフ・佐藤純子さんから福島の現況を聞き交流を深め、防災の取り組みについても意見交換を行った。

神戸YWCAとして「防災」にどう取り組めるか検討するために情報収集を行うこととした。8月に「阪神・淡路震災記念 人と未来防災未来センター」を見学。9月に神戸市社会福祉協議会の長谷部治さんと國生真由さんから、最近の災害事情や、日頃から地域福祉活動を行う神戸YWCAのような団体がどのような視点で防災に取り組むことが望まれるのかについて、ヒントやアドバイスを得た。また、同月に神戸市中央消防署を訪問し、消防署の働きや防災教育について学んだ。

4月～12月までに委員会や勉強会を開催し、アイデア出しや情報収集を経て、後半には具体的なプログラムを実施したかったが、具体案の決定にまで至らなかった。

●活動実績

開催日	ミーティング (場所など)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
5月22日	環境・くらし委員会合同ミーティング (住吉セカンドハウスでハイブリッド)	日本YWCAセカンドハウスプログラムやカーロふくしまの現状報告 (佐藤純子・日本YWCAカーロふくしま職員)、各プロジェクトの活動計画の確認と協議	10	23 (全6回)	3
7月16日	第2回ミーティング (神戸YWCA会館)	今年度計画の進め方と方針の決定	4		
8月13日	第3回ミーティング (神戸YWCA会館)	各人の宿題の確認	2		
10月22日	第4回ミーティング (神戸YWCA会館)	今年度の活動の進め方と内容	3		
12月16日	第5回ミーティング (神戸YWCA会館)	今年度の活動の進め方と内容	2		
1月12日	第6回ミーティング (神戸YWCA会館)	今年度の話し合いの整理、次年度の活動	2		

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
8月12日	情報収集 神戸YWCAの取り組める防災とは？ (人と防災未来センター)	「阪神・淡路震災記念 人と防災未来センター」を見学		1
9月9日	内部勉強会 神戸YWCAの取り組める防災とは？	社会福祉協議会の取り組みと 視点から学ぶ	長谷部治、國生真由 (神戸市社会福祉協議会)	3

9月22日	内部勉強会 神戸YWCAの取り組める防災とは？ (神戸市中央消防署)	消防署の防災の取り組みから学ぶ	神戸市中央消防署	3
延参加人数(全3プログラム)				7

こうふく
神 福のはしごプロジェクト

代表 福田百
メンバー 3人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA地域連携委員会の活動方針に沿って今年度も実施する。コロナ禍により、リフレッシュプログラム(保養)に参加する家族が激減している。刻々と変化する状況を見据えながら、これまでのつながりを活かし、互いに励ましあう関係を深めたい。そして、神戸と福島の新たな関係づくりにつなげていく。

●活動報告

昨年度はコロナ禍のため、福島から保養に来た家族は0人だったが、今年度は1家族4人を迎えることができ、淡路島の海水浴場や甲子園球場での野球観戦を楽しんでいただけた。年末に1家族、春休みに1家族を迎える予定だったが、コロナ禍などの影響によりキャンセルとなった。

NPO法人「いわき放射能市民測定室たらちね」が2023年1月から実施する「たらちね防災プロジェクト」に、環境・暮らし委員会から6人(神福のはしごプロジェクトから5人)が参加している。3月には現地プログラムとして、福島県いわき市を訪問した。

はしごプログラムは実施できなかったが、福島訪問を契機に、福島と神戸をつなぐプログラムの実施を今後検討していきたい。

●活動実績

開催日	ミーティング(場所など)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数(全回数)	平均参加人数
5月22日	環境・暮らし委員会ミーティング (住吉セカンドハウスでハイブリッド)	日本YWCAセカンドハウスプログラムやカーロふくしまの現状報告、各プロジェクトの活動計画の確認と協議	10	16 (全2回)	8
12月19日	神福のはしごミーティング (オンライン)	たらちね防災プロジェクトの参加確認、福島訪問プログラムについての協議、2022年度振り返りと2023年度活動計画の検討	6		

開催日	プログラム・イベント名(場所など)	テーマ・主な内容	参加人数
8月	セカンドハウスプログラム (住吉セカンドハウス)	福島およびその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れを実施。申し込み後の体調不良、職場での自粛要請などの理由により、3家族12人がキャンセルとなり、利用者は1家族4人のみ。	4
延参加人数(全1プログラム)			4

<他団体主催のプログラムに参加>

開催日	プログラム・イベント名(場所など)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数(神戸YWCA)
1月～6月	たらちね防災プロジェクト 「女性のための防災」オンライン研修および 現地プログラム(3月17日～18日) (オンライン/福島県いわき市)	地震、津波、原発事故の複合災害の現場での体験から学び、現在に生かす	いわき放射能市民測定所 たらちね	6
延参加人数(全1プログラム)			4	

ユース・エンパワメント委員会

●活動方針・目標

多世代協働、多世代エンパワーメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

旅人ユースプロジェクト

代表 福田百
メンバー 1人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

ユースが各チームやグループにボランティアとして関わることを通じて、その現場の魅力や課題に触れる。そうした出会いの場づくりを行うことで、ユース・ミドル・シニアの対話を促進し、神戸YWCAが問い直し続けられる組織となることを目指す。長期的な目標としては、神戸YWCAにおいて、ユースが企画運営を担うためのサポートを実施したい。

●活動報告

このプロジェクトは、ユースが参加したくなる、神戸YWCAの魅力に触れることのできるしくみをつくりたいという思いから立ちあがった。しかけとしては、神戸YWCAの活動に、ユースがボランティアとして一期一会で参加することをプログラム化し、神戸YWCAとユースの間に接点をつくるものである。しかし、分室での活動が終了し、各活動が神戸YWCA会館に移行するタイミングであったため、すべてが模索段階であり、ユースに参加してもらえ活動を揃えてプログラム化することは難しかった。今年でプロジェクトを休止するが、神戸YWCAにおいて活動するユースを増やし、ともによりよい社会を目指していくための手立てを会員全体で考えていきたい。

●活動実績

開催日	ミーティング（場所など）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
5月2日	第1回ミーティング（オンライン）	ユース・エンパワメント委員会の2プロジェクトの進捗状況確認と今後の進め方の協議	3	3 (全1回)	3

こどもいいんかいプロジェクト

代表 木村文子
 おとな委員 4人
 こども委員 3人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：子どもの「やりたい」を、形・プロジェクトにする。思い描いたプロジェクトを遂行するためには何が必要かを自ら考え行動をする。子どもは問題提起と解決方法の力をつけ、次世代を担う力をつける。おとなは子どもからの発信に刺激を受け協働できる関係を目指したい。

目標：神戸YWCAの様々な大人（会員、まごの手や保育園、日本語教育のスタッフなど）との接点を作っていく。

●活動報告

おとな委員会は全8回開催。今年度に入って、神戸大学の学生2人がおとな委員として参加してくれた。こどもいいんはミーティング8回、そして様々なプログラムに取り組んだ。

7月、夏休み中のアナログゲーム大会企画はメンバーの新型コロナ感染、感染者の急増もあり延期。1月の冬休み中に開催し、ボランティアと保護者の大人も歓声をあげて楽しんだ。また、今年度は神戸YWCAの他の会員活動にこどもいいんが参加する機会を得た（カフェもぐもぐ、わいわいデイルーム）。運営委員会主催のガレージセールでは、神戸YWCA保育園のお手伝いと片付けに3回、のべ6人が参加した。

2月25日に日本YWCAがZOOMでライブ配信する「バーチャルde地域YWCA訪問」に神戸YWCAが登場することから、その紹介動画をこどもいいんかいが中心になって制作した。2回に分けて撮影し、3つの事業の動画を作った。子どもたちは動画編集までは手がけることはできなかったが、台本、カンペづくりなど自ら考え、楽しみながら協力してくれた。

子どもが他の活動に出向き役割をもらえたことは、居場所づくりにおいて大切なしくみであると感じた。おとなとの接点は足がかりをつくるに留まった。原因として、集える回数が少なく、目標達成のためには時間が足りないことにある。今後はスケジュールを確保し、しっかり準備時間を設けるなど、「SMART」に考えたい。

●活動実績

開催日	ミーティング (場所：神戸YWCA会館)	主な議事内容など	人数 (こども)	人数 (おとな)	延参加人数	平均参加人数
5月27日	第1回ミーティング	今後の進め方、7月のアナログゲーム大会の募集方法など		4	77 (全16回)	4
6月4日	第2回ミーティング	7月のゲーム大会の準備		4		
6月22日	第3回ミーティング	こどもいいんかい募集チラシ、第1回こどもいいんかい準備		4		
10月14日	第4回ミーティング	2022年度下半期の活動計画		6		
11月4日	第5回ミーティング	1月のアナログゲーム大会の内容と参加者について協議		6		

12月7日	第6回ミーティング	「バーチャル de 地域 YWCA 訪問」、1月のアナログゲーム大会の準備、2023年度活動計画		6	
1月6日	第7回ミーティング	こどもいいんかいの振り返り、2022年度活動報告と2023年度活動計画		3	
1月26日	第8回ミーティング	2023年度活動計画		3	
7月2日	第1回こどもミーティング	意見交換と今後の進め方	3	3	
7月21日	第2回こどもミーティング	アナログゲーム大会と夏休みの企画案	3	1	
7月22日	第3回こどもミーティング	こどもミーティングの打ち合わせ	3	1	
11月19日	第4回こどもミーティング	アナログゲーム大会の会場の準備について	3	2	
12月3日	第5回こどもミーティング	アナログゲーム大会準備	3	1	
1月28日	第6回こどもミーティング	「バーチャル de 地域 YWCA 訪問」動画台本づくりと撮影	3	5	
2月4日	第7回こどもミーティング	バーチャル de 地域 YWCA 訪問動画台本づくりと撮影	3	3	
3月24日	第8回こどもミーティング	次年度の説明と話し合い アナログゲーム大会	3	1	

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	人数 (こども)	人数 (おとな)
9月3日	第1回カフェもぐもぐ参加 (神戸聖愛教会)	昼食のお手伝い	カフェもぐもぐメンバー	1	1
10月1日	第2回カフェもぐもぐ参加 (神戸聖愛教会)	昼食のお手伝い	カフェもぐもぐメンバー	2	1
10月4日	わいわいダイルルーム参加	ダイルルームお手伝い	わいわいダイルルームメンバー	1	1
1月6日	アナログゲーム大会準備	アナログゲーム大会	青柳 正	4	5
1月7日	アナログゲーム大会				
延参加人数 (5プログラム)				8	8

グループ

愛農人倶楽部



代表 大石知世子
メンバー 3人

●活動方針・目標

方針：完全無農薬有機栽培の野菜づくりを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。

目標：・定例会として毎月約1～2回、道場の風キャビン農園にて農作業を実施、季節の野菜を作り収穫する。

- ・メンバー募集とビジター参加者を募集
- ・畑とプラスαの倶楽部の活性化

●活動報告

今年度より第2日曜日に定例会を実施した。野菜の植え付けや収穫のタイミングは難しいが、予定が立てやすくなった。しかし、メンバーの生活の変化や体調、仕事の都合でなかなか全員参加できず、今年度は1世帯のメンバー家族が主に作業するケースが多かった。来年度はコロナの様子を見ながら、収穫物で料理をしたり、畑を通じてアウトドアな遊びをしたり、ポチポチやっと思いこうと思う。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸市北区道場・風キャビン農園)	テーマ・主な内容	参加人数
4月10日	第1回定例会	じゃがいも種芋植え付け、キャベツ・枝豆苗植え付け、人参・小かぶ種蒔き、畝肥料漉き込み整地	4
5月8日	第2回定例会	ナス・小玉スイカ・万願寺唐辛子の苗植え付け、草刈り、枝豆の世話	1
5月22日	有志で作業	追肥、草刈り、イチゴ収穫	3

6月5日	有志で作業	夏野菜の世話、草刈り	1
6月12日	第3回定例会	さつま芋苗植え付け、つるなしいんげん種蒔き、かぶ・人参間引き菜収穫	2
7月10日	第4回定例会	暑いため8時30分開始。草刈り、枝豆収穫、人参・かぶ種蒔き、畝肥料漉き込み整地	6
10月9日	第5回定例会	午後から雨のため、9時30分～12時まで作業 さつま芋・いんげん豆・ナス・万願寺唐辛子収穫、草刈り	4
12月11日	第6回定例会	大根収穫、肥料漉き込み整地	4
3月12日	第7回定例会	ブロッコリー・大根収穫、じゃがいも種芋植え付け	1
延参加人数（全5プログラム）			19

声の奉仕

代表 河上婦志子、佐々木彰子
メンバー 10人

●活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回、講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

●活動報告

毎月第4火曜日に例会と勉強会を持ち、例会では兵庫県声の図書赤十字奉仕団（以下、赤十字奉仕団）からの報告、神戸YWCAグループが担当する録音図書の企画、報告などの話し合いを、勉強会では酒井茂樹さんの指導のもと朗読勉強会を行っている。今年度は赤十字奉仕団が製作する声の月刊誌「日赤声のアルバム」の中の「花時計」5月号と3月号の製作を担当。PHP担当箇所の朗読・録音および編集作業に携わり、「日赤声のアルバム」のCD製作とモニターなども行った。赤十字奉仕団での役員会、各作業班に参加している。単行図書「本日のメニューは。」を製作中である。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、日赤兵庫県支部)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月12日	点字班例会	勉強会		1
4月23日	総会、運営委員会	引継ぎ、活動方針		5
4月26日	第1回定例会（神戸YWCA会館）	報告、活動方針、単行図書の担当決定		9
	定例会勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	9
5月2日	デイズミーティング	声のアルバム編集作業		1
5月9日	デイズ編集	声のアルバム編集作業		1
	IT班例会	会議		1
5月10日	点字班例会	勉強会		1
5月18日	朗読・音訳を見直す会	改訂作業		1
5月24日	第2回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告、会員退会の件		8
	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	8
5月27日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
5月29日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
6月1日	朗読・音訳を見直す会	改訂作業		1
6月5日	赤十字奉仕団役員会・運営委員会	役員会、運営委員会		3
6月13日	IT班例会	会議		1
	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
6月14日	点字班例会	勉強会		1
6月15日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
6月17日	単行図書検討会	単行図書の検討		1

6月28日	第3回定例会（神戸YWCA会館）	勉強会教材、声のアルバム発行について		9
	定例勉強会（神戸YWCA会館）	音読自主勉強会		9
6月30日	IT班例会	作業		1
7月3日	赤十字奉仕団講習会	赤十字防災ボランティア実践講習会		1
7月4日	デージーミーティング	声のアルバム		1
7月5日	朗読・音訳を見直す会	録音図書製作マニュアル改訂打ち合わせ		1
7月6日	IT班例会	作業		1
7月7日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
7月11日	IT班例会	会議		1
7月18日	IT班例会	作業		1
7月20日	赤十字奉仕団役員会	活動方針決定		1
	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
7月26日	第4回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告、活動方針検討		7
	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	7
7月29日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
7月31日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
8月7日	赤十字奉仕団本部役員・運営委員会	活動方針決定		1
8月17日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
8月18日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
8月23日	第5回定例会（神戸YWCA会館）	担当者から報告、勉強会の教材について		6
	定例勉強会（神戸YWCA会館）	自主勉強会		6
8月31日	朗読・音訳を見直す会	録音図書製作マニュアル改訂打ち合わせ		1
9月5日	デージーミーティング	声のアルバム編集作業		1
9月9日	赤十字奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
9月12日	デージー編集	声のアルバム編集作業		1
9月13日	点字班例会	勉強会		1
9月16日	単行図書検討会	単行図書の検討		1
9月21日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
9月25日	赤十字奉仕団・役員会	活動方針決定		1
9月26日	IT班例会	会議		1
9月27日	第6回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		9
	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	9
10月2日	赤十字奉仕団・役員会	活動方針決定		1
10月11日	点字班例会	勉強会		1
10月15日	赤十字奉仕団・災害訓練	災害拠点病院疾病者受け入れ訓練		2
10月19日	校正勉強会（1）	校正についての講義		5
	朗読・音訳を見直す会	定例会、校正勉強会スタッフ		1
10月22-23日	日赤・災害訓練（HAT神戸）	「ぼうさいこくたい2022」への参加		4
10月25日	第7回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		6
	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	6
11月7日	デージーミーティング	声のアルバム編集作業		1
11月8日	点字班例会	勉強会		1

聖書を読む会

代表 中尾廣美、大工原則子
メンバー 5人

●活動方針・目標

聖書の学びにより、イエス・キリストの愛と平和が広がるように願う。

●活動報告

昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延により、プログラムを開催することができなかった。新しく講師を担ってくださる方を検討している。神戸YWCAの基盤であるキリスト教をより理解し、活動を続けられるよう努力していきたい。

ジェンダーグループ

代表 斎藤明子
メンバー 4人

●活動方針・目標

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会づくりを目指す。

●活動報告

原則月1回オンラインでのミーティングを実施。

今年度前半は、男性側から見たジェンダー意識の作られ方を一つの視点として、片田孫朝日^{かただそん}さんを講師に迎え、8月にオンライン講座を実施した。講師は、私立灘高等学校で子連れ授業を実施し、研究テーマは男性ジェンダー論。講座のテーマは「男の子の育ち方」であった。講座までに内容の方向性、講座の形などのミーティングを行った。当日の参加者は40数人、後半は活発な意見交換がなされた。今年度後半は新メンバーを迎え、このグループからの発信について考えた。女性が日常生活で感じるジェンダーへの思いや気づきを出し合える場としてのフリーペーパー作成に向けて、企画中である。また、元町映画館との共催で、性被害を受けた人たちがSNSを通じて告発する動きを追った韓国発のドキュメンタリー映画『AFTER ME TOO』の上映企画を進めている。

ジェンダーについて考える場づくりという意味で、今年度は目標に向けて進めていった。

●活動実績

開催日	ミーティング (全てオンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均 参加人数
4月24日	第1回ミーティング	活動方針、片田さん講演会企画	3	41 (全12回)	3
5月22日	第2回ミーティング	片田さん講演会実行について	3		
6月19日	第3回ミーティング	同上、新メンバー森さん参加	4		
7月18日	第4回ミーティング	講演会当日の打ち合わせ	3		
8月13日	第5回ミーティング	講演会最終打ち合わせ	3		
9月18日	第6回ミーティング	講演会振り返り	3		
11月6日	第7回ミーティング	フリーペーパー作成企画	4		
12月19日	第8回ミーティング	同上	4		
1月8日	第9回ミーティング	同上	3		
1月15日	第10回ミーティング	フリーペーパー、 映画『After Me Too』上映会について	4		
1月29日	第11回ミーティング	映画『After Me Too』上映会について	4		
2月12日	第12回ミーティング	フリーペーパーについて	3		

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師名等	参加 人数
8月27日	オンライン講演会「生き方は自分で選ぶ～男の子、女の子のジェンダー意識の作られ方～」	基調講演「ジェンダー意識の作られ方～男の子の育ち方に注目して～」をもとに、参加者それぞれの人生でジェンダー意識が どう影響していたかを考える。	片田孫朝日 (灘中学校・高等学校教諭)	30

ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 寺沢京子
メンバー 4人

●活動方針・目標

- ・他団体、グループと橋をつなぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行い、学び、語り合う。

●活動報告

第11回「学び 語り合い つながる会」を、6月11日（土）午後、喫茶エスポワールで開催した。テーマは「ベアテ・シロタさんについて学び、平和を考える」（資料提供：ピース・ブリッジメンバー）。終了後、数人の若い女性から「今後の自身の生き方について示唆を得た」という嬉しい感想をいただいた。

第12回「学び 語り合い つながる会」を、11月19日（土）午後、喫茶エスポワールで催した。テーマは「SDGsと女性の貧困&六甲ウィメンズ・ハウスについて」（講師：梅澤昌子さん）。会の後、ピース・ブリッジのメンバーで、今後の活動について率直に話し合った。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：喫茶 エスポワール)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月11日	第11回「学び 語り合い つながる会」	ベアテ・シロタさんについて学び、 平和を考える	ピース・ブリッジ (資料提供)	12
11月19日	第12回「学び 語り合い つながる会」	SDGsと女性の貧困 六甲ウィメンズ・ハウスについて	梅澤昌子	8
延参加人数（全2プログラム）				20

文学講座

代表 中尾廣美
メンバー 5人

●活動方針・目標

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・清少納言の「枕草子」を完結まで読む。

●活動報告

毎月（8月を除く）第3火曜日13時30分より会館で実施している。笠原芳光さん亡き後もメンバーで自主勉強している。今は清少納言「枕草子」を、現代訳を参考に読み継いでいる。宮廷の優美な生活、やりとりや自然の移り変わりの美しさを学んでいる。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、休会もやむを得ない時もあった。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月26日	第1回文学講座	枕草子 186段～196段	メンバーで 自主勉強	4
6月28日	第2回文学講座	枕草子 197段～206段		5
7月19日	第3回文学講座	枕草子 207段～216段		5
9月20日	第4回文学講座	枕草子 217段～235段		5
10月11日	第5回文学講座	枕草子 236段～241段		5
11月15日	第6回文学講座	枕草子 242段～246段		4
12月13日	第7回文学講座	枕草子 247段～261段		5
3月14日	第8回文学講座	枕草子 262段～271段		5
延参加人数（全8プログラム）				38

平和活動グループ

代表 鶴崎祥子
メンバー 6人

●活動方針・目標

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえらるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法を守る活動を継続する。

●活動報告

コロナ禍が3年続き、メンバーの高齢化・減少という状況もあるが、例会は対面・オンラインで途切れなく開催できた。

6月、参議院選挙前、「憲法カフェ」のおしゃべり会をもった（参加者8人）。女性として、女性団体の一員として、選挙にどのように向かえばよいか、話し合い考えた。7月の参議院選挙に向けて、私たちの考えを共有することが可能な、地域の女性候補者数名に応援メッセージを送った。11月には、神戸YWCAの平和プログラムに尽力された佐治孝典さんを「偲び、語り合う会」を催した。古い会員の方々が多く参加され、旧交を温めるとともに平和への願いを確認しあうことができた。

コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻など、世界的に不安な状況が続いている。しかし、私たちは憲法(9,13,24条など)を基に、「一人ひとりが大切にされる」平和な社会を求める活動を進めている。憲法集会など、他団体が主催する集会や講演会にも可能な限り参加することができた。

●活動実績

開催日	ミーティング（付記以外、神戸YWCA会館でのハイブリッド）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
5月14日	第1回委員会	他団体交流会と憲法集会、これからのグループ活動、参議院選挙に向けてのグループ活動	4	28 (7回)	4
6月3日	第2回委員会 (オンラインのみ)	「憲法カフェ～参院選前のおしゃべり会」内容の検討、役割分担、参議院選挙に向けてのグループ活動	4		
9月28日	第3回委員会	「佐治孝典さんを偲び語り合う会」内容検討	5		
10月26日	第4回委員会	「佐治孝典さんを偲び語り合う会」における資料等作成に関する役割分担	5		
12月10日	第5回委員会	安保関連3文書から「攻撃能力」について読み取り・協議、第2回「おしゃべり会」開催の決定、2023年度計画と予算案作成	3		
1月12日	第6回委員会	第2回「おしゃべり会」内容決定、役割分担など	3		
3月23日	第7回委員会	第3回「おしゃべり会」の開催とテーマおよび講師の決定	4		

開催日	プログラム・イベント名（場所など）	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数
6月19日	憲法カフェ 参院選前のおしゃべり会 (神戸学生青年センター)	参議院選挙を前に共に女性団体の一員として、今後願う社会を語り合う	平和活動グループメンバー	8
6月	女性議員に応援メッセージ	参議院選挙にむけて関西地区の女性候補者に応援メッセージ発送	平和活動グループメンバー	
11月6日	佐治孝典さんを偲び、語り合う会 (神戸学生青年センター)	神戸YWCAの平和運動に尽力した佐治孝典さん(9月逝去)を偲び、平和について語り合う	平和活動グループメンバー	15
1月29日	おしゃべり会 日本の平和主義が消される！改訂「安保関連3文書」には何が書かれているの？ (神戸学生青年センター)	「安保関連3文書」を読み、アジアの平和について考える	平和活動グループメンバー	13
延参加人数（全4プログラム）				36

<他団体主催プログラムへの参加>

開催日	プログラム・イベント名（場所など）	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数 (神戸YWCA)
4月24日	市民デモHYOGO 春の交流会 (神戸市勤労会館)	2021年度振り返りと分科会	市民デモHYOGO	4
5月3日	5・3兵庫憲法集会 (みなとのもり公園)	憲法集会	講演：金平茂紀（ジャーナリスト） 主催：戦争をさせない、9条壊すな！ 総がかり行動兵庫県実行委員会	8
11月3日	兵庫憲法集会 (長田区文化センター)	日本国憲法施行75年 いまこそ憲法9条を活かすとき	講演：伊藤千尋（ジャーナリスト） 主催：憲法改悪阻止兵庫県各界連絡会議 (兵庫県憲法会議)	2
11月30日	総がかり行動兵庫 11.30 憲法集会 (中央区文化センター)	戦争を回避する日本の戦略	講演：柳澤協二（国際地政学研究所理事長） 主催：戦争をさせない、9条壊すな！ 総がかり行動兵庫県実行委員会	1

2月23日	ストップ大軍拡！ 市民集会&デモ in HYOGO (神戸市立婦人会館)	憲法集会	講師：山本昭宏（神戸市外国語大学准教授）、 清水早子（ミサイル基地いらない 宮古島住民連絡会共同代表） 主催：市民デモ HYOGO	7
-------	--	------	--	---

マザースカレッジ企画会

代表 貫名裕子
メンバー 7人

●活動方針・目標

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、大人が本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

●活動報告

2022年度も引き続き世界的なコロナの猛威であった。マザースカレッジ企画会の予定も、ストーリーテリング研究会2活動のみとした。例年開催の公開講座も再度見送った。

昨年と違い、コロナのために会が中止・延期になることは少なくなった。研究会もほぼ予定通りに開催できて委員会も安堵した。

ストーリーテリング研究会（大月先生）は、登録25人。研究会員も少しずつ減少している。全予定7回終了した。

ストーリーテリング研究会（芦田先生）は、養成講座出身の研究会員が少なくなり、追加で新規会員を募った。復帰した会員もいた。全予定6回終了。

大月先生研究会の例会に、芦田先生研究会の希望者が特別参加した。交流が持ててよかったと思う。

真生塾は引き続き中止だったが、2023年度から再開を考えている。

●活動実績

ストーリーテリング芦田先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (場所：兵庫県民会館交流プラザ)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月23日	第1回	おはなし、詩実践 課題本『たのしい川べ』	芦田悦子	20
8月29日	第2回	おはなし、詩実践 課題本『ツバメ号とアマゾン号』	芦田悦子	16
9月26日	第3回	おはなし、詩実践	芦田悦子	21
11月28日	第4回	おはなし、詩実践	芦田悦子	21
1月30日	第5回	おはなし、詩実践 課題本『グリーンノウのお客さま』	芦田悦子	22
3月27日	第6回	おはなし、詩実践 課題本『長い冬』	芦田悦子	20
延参加人数（全6プログラム）				120

ストーリーテリング大月先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸市青少年会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月27日	第1回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	24
6月24日	第2回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	22
9月30日	第3回定例会	『つばさの贈り物』7・13章 ピーターラビット絵本読み聞かせ、課題本『ツバメの谷』	大月ルリ子	25
10月28日	第4回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	25
11月25日	第5回定例会	『つばさの贈り物』8・9章、 『ピアトリクスポター』『パイがふたつあったおはなし』	大月ルリ子	25
1月27日	第6回定例会	大月先生によるピアトリクスポターのおはなし	大月ルリ子	31
2月24日	第7回定例会	『つばさの贈り物』14章 『ヒナギク野のマーティンビビン』『くまのプーさん』	大月ルリ子	26
延参加人数（全7プログラム）				178

神戸真生塾

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸真生塾)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				子ども	先生
コロナにより中止					

夜回り準備会

代表 金本美子、中村祥規、藤井康虎
メンバー 26人

●活動方針・目標

神戸市東部の夜回りを昨年度に引き続き実施、追加的な支援が必要となった場合には他団体につなぐ。その場合でも、その後つないだ他団体と協働しながらやり取りを行っていくことは必要かつ可能な範囲で行う。このような夜回りを実現するために、神戸YWCA会館の拠点化およびタイムズカーの使用を進めていく。

●活動報告

2022年度も月2回の「夜回り」(第2・4土曜日18時集合、19時～22時)、月1回の「定例ミーティング」(第3土曜日20時～、約2～3時間)を中心に活動に取り組んだ。

従来の活動からの変化としては、分室から本館へ活動拠点を移したこと、カーシェアサービスを全面利用するようになったこと、定例ミーティングが原則オンライン開催となったことなどが挙げられる。また、月1回、手づくりのおにぎりを配布してきたが、長年、担当いただいた方からの引退の申し出があり、7月で休止した。

このほか、メンバー相互の活動の方向性を討議する会として「方向性会」を1回、ある訪問先の方への関わり方について協議するミーティングを1回、実施した。

今年度は、活動を継続するうえで、いくつかの課題に直面した。まず、実働できるメンバーが減ったことで、「夜回り」を定期的実施する体制を確保するのに四苦八苦した。メンバーが時間を分けてそれぞれ訪問というかたちで対応したこともあった。また、活動に対する見解について、メンバー間で意見がかみ合わないこともままあり、その調整にも労力がかかった。加えて、カーシェアの利用が増えたことなどにより費用がかさむ一方で、寄付金が減少したことで、資金面での課題も顕在化した。

そういう状態が続く中で、野宿している人に関わる活動を続けるのは、相手に迷惑をかける恐れがあるため、メンバー内での話し合いの結果、2023年度4月以降は当面の間、活動を停止することを決めた。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	夜回り先件数 ()は出会った人数	参加人数
4月9日	第1回 夜回り	灘、東灘地域で 野宿生活をしている 人の訪問活動。 その人が望むようなかたちで 暮らすことの 手伝いをしたいと考えている。	4 (4)	3
4月23日	第2回 夜回り		4 (4)	4
5月14日	第3回 夜回り		4 (4)	4
5月28日	第4回 夜回り		4 (4)	2
6月11日	第5回 夜回り		4 (4)	3
6月25日	第6回 夜回り		4 (4)	3
7月9日	第7回 夜回り		4 (3)	2
7月23日	第8回 夜回り		4 (3)	2
8月13日	第9回 夜回り		4 (3)	2
8月27日	第10回 夜回り		4 (3)	2
9月10日	第11回 夜回り		4 (3)	2
9月24日	第12回 夜回り		4 (3)	2
10月8日	第13回 夜回り		4 (3)	2
10月22日	第14回 夜回り		4 (3)	2
11月26日	第15回 夜回り		3 (3)	3
12月10日	第16回 夜回り		4 (3)	3
12月24日	第17回 夜回り		3 (3)	2
1月14日	第18回 夜回り		3 (3)	3
2月11日	第19回 夜回り		3 (3)	3
2月25日	第20回 夜回り		3 (2)	2

3月25日	第21回 夜回り	3 (2)	4
延参加人数 (全21プログラム)		78 (67)	55

開催日	プログラム名 (場所など)	テーマ・主な内容	参加人数
4月16日	方向性会 (神戸YWCA会館でのハイブリッド)	活動の位置づけや会の方向性について、メンバー同士での認識のすり合わせ	5
1月14日	グループ活動についての話し合い (神戸YWCA会館でのハイブリッド)		4
延参加人数 (2プログラム)			

わいわい科学クラブ・アフタヌーン・ティー・現代史勉強会もづる

休会中

II 総合サポート事業 (「総合サポートセンター」所管)

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

神戸YWCAまごの手

所長

寺内真子

<居宅介護支援事業>

管理者

吉田好江

ケアマネジャー

吉田好江、福嶋佳子

<訪問介護事業>

管理者

藤井かえ子

サービス提供責任者

藤井かえ子、山田司、松尾玲子 (10月～)

サービス提供責任者 (パートタイム)

野村春美、吉田里子 (～8月末)、小野美津江 (～9月末)

子育て支援コーディネーター

藤原道子

常勤ヘルパー

松尾玲子 (7月～9月末)

事務パートタイム職員

湯朝律子、島村正

登録ヘルパー

新井育子、有富和子、浦川喜代美、大巻智子、奥乃恵美子、加東みどり、川崎初子、木村房代、久保田三鈴、斎藤美智、鈴木泰子、鈴木由希子、鈴木嘉一、竹内真理子、田中秀子、谷口真弓、成田光晴、成美久美、福田悦子、前田豊子、松岡晴子、丸井和子、三木二三子、宮崎公子、宮田泰子、村瀬恵子、森本眞智子、守屋淑子、涌波啓子、吉田里子 (9月～)、前田あゆみ (10月～)、小野美津江 (10月～)、福島光枝 (10月～)、高原佐美 (2月～)

登録ヘルパー (同行援護従業者)

金子知子、山下尚美、渡辺正彦

登録ヘルパー (産前産後ヘルパー)

木村文子 (12月～)

(計 37 人)

<居住支援事業>

担当職員

寺内真子、吉田好江

ボランティア相談員

宮田泰子、岩切幸子、瀬戸昭、野村春美、野々村耀

<生活支援わいわい>

代表

川辺比呂子

運営委員

井上みち子、三浦啓子、宮田泰子

メンバー

20人

担当職員

塩見洋子

●事業方針・目標

<居宅介護支援事業・訪問介護事業・居住支援事業>

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために居宅介護支援(ケアマネジメント)や訪問介護(身体介護、生活援助)等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行う。居宅介護支援事業や訪問介護事業とも連携をはかり

つつ住宅確保要配慮者に対する居住支援事業を行う。

- ・神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。
- ・地域包括ケアの実現を目指し、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ・利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ・よりよいサービス提供に繋がるよう、事業所体制を整え、研修を充実させる。
- ・次代を担う人材を確保し、育成する。

<生活支援わいわい>

神戸YWCAの理念に基づき、お互いの支え合いで気持ちのよい、心豊かな暮らしが過ごせる地域づくりを目指し、生活支援サービス活動を行う。

- ・2022年度上半期は試行期間として、サービス対象をYWCA会員・会友・まごの手利用者、元分室利用者、居住支援対象者など神戸YWCA関係者に限って、活動する。
- ・利用者のニーズに応えられるサービス提供を目指す。
- ・サービス提供者の研修・交流を充実させる。
- ・メンバー（サービスを受ける人・提供する人・活動を支援する人）の拡大に努める。

●事業報告

<居宅介護支援事業>

居宅介護支援は主任介護専門員を含めたケアマネージャー2人体制で、中央区、灘区を中心に誰もが安心して地域で暮らし続けられるように支援を行っている。

今年度に入り新型コロナウイルス感染症の患者は減少しているものの、手洗いや消毒など引き続き感染予防に努め、モニタリングや担当者会議を行っている。コロナ感染予防のためにサービス利用を控えることは減っており、スムーズなサービス提供が行えるようになってきている。

独居の高齢者の増加や、介護度の重度化により自宅での生活を余儀なくされ施設入所を望まれる利用者・家族も多い。地域の中でその人らしい暮らしを継続するためには課題も多いが、行政や他事業所、まごの手の訪問介護や神戸YWCAの地域福祉活動とも連携を取りながら、今後も利用者一人ひとりに寄り添える支援を提供する。

<訪問介護事業>

7月に新職員を迎え、常勤職員4人、パートタイム職員1人の体制となり、安定した。介護保険、総合事業、障害者総合支援事業のほか、移動支援、産前産後ヘルプ、ほっとヘルプ、自費サービスにもヘルパー派遣を行った。今年度は新たに「神戸市こどもケアラー世帯への訪問支援事業」の委託を受け、ヘルパー派遣を実施した(1件)。利用者数は月平均143.7人、利用時間数は月平均1,117.9時間で、増加傾向である。活動方針・目標はほぼ達成しているが、ヘルパー派遣の依頼が多く、ニーズに応えきれない。今後も引き続き介護人材の確保と育成を行っていききたい。

<居住支援事業>

職員2人とボランティア5人の体制で、入居前相談と入居中の相談を実施。入居前相談を33件受け、うち11件において住宅を確保した。

<生活支援わいわい>

今年度もコロナ感染が懸念されたが、昨年からの引き続き活動を実施した。広報の成果により会員からの紹介や居住支援利用者からの依頼があり、メンバーが増え24人になった。メンバーからの紹介もあり、次第に活動が広がっていると感じる。依頼内容は、掃除、整理整頓といった昨年度からの継続作業に加え、ゴミ出し、引越しの片付け、買い物や行政手続きなどの代行依頼や、スマートフォン・プリンターの操作を教えてほしい、などの要望にも応えた。依頼件数は83件、サービス総時間は120.5時間であった。運営委員会を月1回行い、情報を共有した。

メンバー交流・研修会は、4月に「清掃」の研修を開催し、メンバーのスキルアップにつなげた。12月にはコロナの状況により対面開催が難しかったため、LINEのグループトークでサービス提供経験を共有しあい交流した。生活支援わいわいとまごの手の各活動のすみ分けが課題になっており、11月にまごの手と話し合いがあった。

●事業実績

まごの手事務会・プログラム・イベント等

ミーティング（場所：神戸YWCA会館）	在籍数	回数
まごの手職員会	9	12

●事業データ

サービス種類			2020年度 月平均	2021年度 月平均	2022年度 月平均
居宅介護支援事業	居宅介護支援	件数	38.3	39.3	44.0
	介護予防支援/ 介護予防ケアマネジメント(委託)	件数	12.3	13.4	12.9
	件数計			50.6	52.8
訪問介護事業	訪問介護	利用時間数	413.9	364.1	468.0
		利用者数	35.8	30.4	37.2
	介護予防訪問サービス(総合事業)	利用時間数	305.8	293.7	296.1
		利用者数	50.0	48.2	49.3
	生活支援訪問サービス(総合事業)	利用時間数	4.9	0.8	0.6
		利用者数	1.3	0.5	0.5
	障害福祉サービス(居宅介護)	利用時間数	128.2	127.5	107.5
		利用者数	13.0	11.8	11.8
	障害福祉サービス(重度訪問介護)	利用時間数	0	0	1.3
		利用者数	0	0	0.3
	障害福祉サービス(同行援護)	利用時間数	48.7	18	55.5
		利用者数	5.6	5.4	7.6
	障害福祉サービス(移動支援)	利用時間数	31.3	30.6	28.6
		利用者数	1.8	2.1	1.8
	神戸市養育支援訪問事業 (産前・産後、養育支援ヘルパー派遣)	利用時間数	75.0	78.5	65.3
		利用者数	17.5	18.4	17.5
	ホームヘルプ(自費)	利用時間数	38.8	46.2	67.8
利用者数		15.1	16.2	17.3	
産前産後ホームヘルプ(自費)	利用時間数	9.7	9.8	11.9	
	利用者数	2.3	1.8	2.7	
神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業 (ほっとヘルパーサービス)	利用時間数	27.2	23.9	15.4	
	利用者数	3.4	2.3	1.3	
利用時間数(月平均)			1,083.5	993.1	1,117.9
利用者数(月平均)			145.7	137.1	143.7

*産前産後ホームヘルパー派遣に養育ヘルパー派遣事業を含む

内部研修(訪問介護事業所・全体)

開催日	内容 (場所:神戸YWCA会館)	講師等	回数	出席者数	レポート 提出者数
4月23日	高齢者の食事・栄養管理について	村山美知(管理栄養士)	1	12	
5月28日	高齢者や障害者への虐待について	藤井かえ子	1	13	
6月	レポート「自然災害対応について(台風・豪雨編)」	-	1		16
7月23日	認知症の人とともに(DVD視聴とワーク)	寺内真子	1	9	
8月27日	感染症予防について	小野美津江	1	8	
9月24日	訪問介護における「自立支援」とは	藤井かえ子	1	10	
10月29日	訪問リハビリについて	井澤輝英(理学療法士)	1	24	
12月24日	8050問題(DVD視聴)、交流会	藤井かえ子	1	9	
1月28日	高齢者がよく服用する薬について	有川沙也香(薬剤師)	1	13	
3月25日	2023年度ヘルパー登録説明会・研修会	藤井かえ子・寺内真子	2	32	

外部研修/他団体関係(訪問介護事業所)

開催日	内容(場所など)	主催	回数	出席者数
6月4、25日、7月16日	2022年度YWCA職員研修会 (1~3年目)(オンライン)	日本YWCA	1	1
7月19日	認知症介護基礎研修 (オンライン)	認知症介護研究・ 研修仙台センター	1	1
11月15、22日、 12月6、9日、2月2日	認知症介護実践者研修 (オンライン)	神戸市社会福祉協議会	1	1

① 9月8、9、15、16日 ② 12月8、9、15、16日	同行援護従業者養成研修（一般課程） （神戸アイライト協会）	中山視覚福祉財団 神戸アイライト協会	2	2
2月9、16、17日	同行援護従業者養成研修（応用課程） （神戸アイライト協会）		1	1
2月4日	サービス提供責任者養成研修 （エルおおさか）	NPO 法人医療・福祉サービス 事業者サポート機構	1	1

実習受け入れ

開催日	内容	実習指導	回数	参加者数	実習生数
2月6日	神戸女子大学 2022年度福祉実習教育研究会	-	1	1	-
2月7、8、9、 13、14日	神戸女子大学 介護福祉実習	藤井かえ子	1	-	2

内部研修・外部研修（居宅介護支援事業所）

開催日	内容（場所など）	主催	回数	出席者数
5月28日	高齢者や障害者への虐待について （神戸YWCA会館）	神戸YWCA まごの手	1	2
7月2日	認知症サポーター養成講座 （神戸聖愛教会）	神戸YWCA カフェもぐもぐ	1	1
10月27日、11月10日、 12月7、8日、2月1、2日	介護支援専門員専門研修過程Ⅱ （兵庫県福祉人材研修センター）	兵庫県社会福祉協議会協議会 福祉人材研修センター	1	1
11月17日	高齢者虐待の初動期について学ぶ （神戸市中央区役所）	中央区ケアマネジャー連絡会	1	1
11月24日	第1回地域ケア会議 （兵庫県福祉センター）	新神戸あんしんすこやかセンター	1	1
12月21日	介護保険制度改正について （神戸市中央区役所）	中央区ケアマネジャー連絡会	1	1
1月28日	高齢者がよく服用する薬について （神戸YWCA会館）	神戸YWCA まごの手	1	1
2月17日	ハラスメント、連携方法について 意見交換（神戸市中央区役所）	中央区地域ネットワーク連絡会議	1	1
3月31日	介護保険事業者向け説明会 （集団指導）（オンライン）	神戸市福祉局監査指導部	1	1

相談窓口の設置（居住支援事業）

窓口	在籍スタッフ数	開設日数	相談者数
相談窓口（電話）	2	261	33
面談（来所・訪問等）	7	-	25

入居前の支援（居住支援事業）

支援内容	利用者数
入居に向けた相談等	22
不動産店への同行・コーディネート	18
住宅確保	15（自力確保3、他と連携1）
緊急連絡先の確保	2

入居中の支援（居住支援事業）

支援内容	利用者数	回数
見守り・生活支援・入居中の相談等	18	88
社会参加のための支援・他団体との連携等	3	-

ミーティング等（居住支援事業）

名称（場所など）	在籍数	回数
居住支援相談事業ミーティング（神戸YWCA会館）	7	12
居住支援ネットワーク会議 主催：神戸YWCA まごの手、近畿大学建築学部寺川研究室（オンライン）	9	9

内部研修（居住支援事業）

開催日	内容（場所など）	講師等	回数	出席者数
6月21日	精神障害者の居住支援（神戸YWCA会館）	涌波和信 （神戸市精神障がい者家族会連合会会長）	1	7

セミナー・勉強会等の開催（居住支援事業）

開催日	内容（場所など）	主催	回数	出席者数
8月8日	居住支援活動への思い これまでの歩み、現状と課題、これからについて （神戸聖愛教会）	松浦亮輔 （ノーヴォ・テンポ株式会社 代表取締役社長）	1	11

外部研修／他団体関係（居住支援事業）

開催日	内容（場所など）	主催	回数	神戸Y出席者数 （総数）
7月8日	事例発表フォーラム「未来会議～10年の歩み、 そしてこれからの地域の未来（カタチ）～」 （スペースアルファ三宮）	神戸市社会福祉協議会	1	1
7月11日	居住支援シンポジウム2022 高齢者の安定居住に向けて（三宮研修センター）	神戸市居住支援協議会	1	3
7月28日	令和4年度居住支援協議会拡大会議 （ラッセホール）	ひょうご住まいづくり協議会	1	1
10月9日	ひょうかれん研修会（兵庫県福祉センター）	兵庫県精神福祉家族会連合会 （ひょうかれん）	1	1
10月11日	障害者の居住支援に関する勉強会 （三宮研修センター）	神戸市居住支援協議会	1	2
11月24日	第1回地域ケア会議（兵庫県福祉センター）	新神戸あんしんすこやかセンター	1	1
11月27日	こころの病家族教室（神戸市立総合福祉センター）	神戸市精神障がい者家族会連合会	1	1
12月9日	神戸市精神障害者地域移行・定着推進事業 第3回検討会（神戸市立総合福祉センター）	神戸市精神障害者地域移行 地域定着推進事業	1	1
2月17日	令和4年度「共生のまちづくり」推進フォーラム （神戸市産業振興センター）	兵庫県社会福祉協議会	1	1
2月27日	令和4年度居住支援団体活動報告会（ラッセホール）	ひょうご住まいづくり協議会	1	2

サービス提供実績（生活支援わいわい）

月	活動場所	サービス内容	活動 日数	活動 件数	利用者数	延 提供者数	延 時間
4月	東灘、中央、須磨	掃除・整理・洗濯、ゴミ出し	5	5	3	5	5
5月	芦屋、東灘、灘、須磨	掃除・整理・洗濯、外出同行、衣類補修、 障子張替、電子機器関係	10	10	5	13	23.5
6月	東灘、灘、中央、須磨	掃除・整理・洗濯、衣類補修、外出同行、 部屋の模様替え、買い物代行	7	7	5	8	17.5
7月	東灘、灘、中央	掃除・整理・洗濯、ゴミ出し	4	4	2	4	4
8月	東灘、中央、須磨	掃除・整理・洗濯、ゴミ出し、 買い物・行政手続き代行	13	16	3	16	27
9月	東灘、灘、須磨	掃除・整理・洗濯、ゴミ出し、 見守りの援助、電子機器関係	8	8	4	8	8.5
10月	東灘、灘、中央	掃除・整理・洗濯、買い物代行	6	6	5	6	7
11月	東灘、中央、須磨	掃除・整理・洗濯	5	5	4	5	6
12月	東灘、中央、須磨	掃除・整理・洗濯	6	6	3	6	6
1月	東灘、須磨	掃除・整理・洗濯、見守りの援助、外出同行	4	4	3	4	4
2月	東灘、須磨	掃除・整理・洗濯、外出同行	7	7	3	7	7
3月	東灘、須磨	掃除・整理・洗濯、見守りの援助	5	5	3	5	5
合計				83		87	120.5

ミーティング等（生活支援わいわい）

ミーティング（場所：神戸YWCA会館）	在籍数	回数	延出席人数	平均参加数
運営委員会	6	11	47	4

研修交流会（生活支援わいわい）

内容（場所など）	開催日	出席者数
サービス提供者研修（神戸YWCA会館）	4月20日	13
サービス提供者経験共有（LINEグループトーク）	12月26日	5

外部研修 / 他団体関係（全体）

開催日	内容（場所：東灘地域助け合いネットワーク等）	主催	回数	延出席者数
6月26日	ひょうごん福祉ネット総会	ひょうごん福祉ネット	1	1
5月19日、7月7日、 9月1日、11月17日、 1月19日、3月2日	ひょうごん福祉ネット定例会	ひょうごん福祉ネット	6	5
4月21日、6月16日	ひょうごん福祉ネット役員会	ひょうごん福祉ネット	2	2
6月26日	居住支援部会	ひょうごん福祉ネット	1	1
8月18日	生活支援部会	ひょうごん福祉ネット	1	1

神戸YWCA 保育園



園長	梅川玲子
保育士	溝平明日香、青木直子（短時間常勤）、西岡奈美、竹田孝子、村越彩、鎌田直子、 伝明地敦子（10月～）、江崎公代（看護師）
地域子育て支援員	西本玲子（11月～）
管理栄養士	須山とも子
調理員	渡辺民乃（管理栄養士・調理士）、溝口あや（調理士）
英語ボランティア	ランディ・渕上（12月～）

●事業方針・目標

- ・子どもたちの「今」を共に生きる。
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える。

●事業報告

コロナ対応が目まぐるしく変わっていく中、転居や、大きい保育園に空きが出たことによる転園などで、2022年度当初は園児数が減った。0歳児では入園を見合わせて育児休暇を伸ばす方も増え、特に中央区は小規模保育園の園児減少が続いた。しかし、人数が少ないことで子どもどうしのつながりや園と保護者とのつながりが密になり、新しい関係が芽生えたことはいずれもうれしい誤算であった。一時保育を含めて5カ国の子どもたちが仲間に入り、とても賑やかに言葉が飛び交う保育室となったことも2022年度の特徴だった。そのことをきっかけに、12月から新しい試みとして、英語を母国語とする男性が月に2回来てくださることになり、英語で会話しながら子どもたちと一緒に遊んでいる。

夏以降見学者が増え、神戸YWCAの保育内容、子どもたちのフレンドリーな姿から好印象を持っていた。0・1・2歳児はやはり小規模園で」という方も増えているようだ。コロナに対する考え方が「十分気を付けて前に進む」に変わっている。「親子参加の行事」「親子で楽しむ会」も開催し、来年度は連携園も増える。子どもたちがいろいろな国の言葉に触れる機会をつくり、神戸YWCAで行われている活動や人とも、もっともっとつながっていきたくと考えている。

●事業実績（保育園園児数）

2022年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3
1歳児	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2
2歳児	4	4	4	5	6	5	7	7	7	7	7	7
計	5	5	5	6	7	7	9	9	12	12	12	12

神戸YWCA つどい場

若年性認知症の人たちとその仲間たちの集い カフェもぐもぐ

代表 宮田泰子
 メンバー 6人
 担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

コミュニティーカフェの役割として以下のことを行う。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
- ・仲間を増やす。

●活動報告

分室のクローズに伴い、活動場所として日本基督教団神戸聖愛教会を借りることになった。広い台所と集会室、また川向こうの自然いっぱいの生田川公園は、うれしい環境でのスタートとなった。活動日は毎月第1土曜日の10時30分～15時、内容も食事づくり、近況報告など感染対策を心がけながら進められた。

4月は新しい環境を楽しもうと、午後は川向かいの満開のさくら見物に生田川公園を散策した。また、若年性認知症サポーターの証であるオレンジリング活動の認知度を高めるためのアンケートを企画実施、現在集計中である。7月には沖本雅子さんを講師に迎え、若年性認知症サポーター養成講座を開催した。神戸YWCAの会員やスタッフ、他団体福祉関係者など23人が参加、当事者家族の思いを聞き、気づきを深める時となった。10月は「こどもいいんかい」の子どもたち2人のメンバーが活動に参加、ごはんづくりなどを体験。その家族も一緒に公園でお弁当を楽しんだ。12月はミーティング、1月はコロナ感染症などの影響で休会となった。

6年目に入り、当事者の状況も次第に変化しており、うれしいこと、楽しいこと、困っていることにこたえながら、必要に応じ、家族も含めて一人ひとりがほっとできる居場所となりたいと願っている。認知症カフェとしての働きを考えるため、他団体との交流なども考えていきたい。とくに新しい仲間が増えることを願っている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸聖愛教会)	テーマ・主な内容	参加人数					合計
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体等 その他	職員	
4月2日	第1回定例会	近況報告、昼食（サンドイッチ） 生田川桜見物	1	1	3	0	1	6
5月7日	第2回定例会	近況報告、昼食（カレー） サポーター資源について	1	1	3	0	1	6
6月4日	第3回定例会	近況報告、昼食（餃子・冷麺） アンケート作成について	1	1	3	0	1	6
7月2日	第4回定例会	近況報告、昼食（カレー） 養成講座準備	1	1	3	1	1	7
8月6日	第5回定例会	近況報告、昼食（カレー） 就労支援について	1	1	3	0	1	6
9月3日	第6回定例会	近況報告、昼食（三色ごはん） 地域ケア会議報告、アンケート	1	1	4	2	1	9
10月1日	第7回定例会	近況報告、お弁当づくり 生田川公園	1	1	3	2	1	8
11月5日	第8回定例会	近況報告、昼食（炊きこみごはん） アンケートについて	1	1	5	0	1	8
12月3日	第9回定例会	昼食（サンドイッチ） ミーティング	0	0	2	0	1	3
1月7日	第10回定例会	中止	0	0	0	0	0	0
2月4日	第11回定例会	近況報告、昼食（カレー） 他団体訪問について	1	1	4	0	1	7
延参加人数（全10回）			9	9	33	5	10	66

開催日	イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館)	テーマ	当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体など その他	職員	合計
7月2日	認知症サポーター養成講座 (神戸聖愛教会)	認知症を理解し、認知症の人を サポートする人を養成 講師：沖本雅子（キャラバンメイト）	1	1	3	17	1	23

6月25日	ガレージセール	アクセサリ販売	0	0	1	0	0	1
9月17日	ガレージセール	アクセサリ販売	0	0	1	0	0	1
12月10日	ガレージセール	アクセサリ販売	0	0	1	0	0	1
3月8日	兵庫県家族の会訪問 (神戸市立婦人会館)	他団体交流	0	0	1	7	1	9
延参加人数			1	1	7	24	2	35

ちやいやあらんど

代表 木村文子
メンバー 1人

●活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもをもつ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者と共に親と子どもが楽しく集える場を創る。
- ・地域や社会を知り、つながるちやいやあらんどとする。
- ・異世代交流、異文化交流を楽しむ。

●活動報告

分室から会館に拠点を移し、会場設営やスペースづくりもできず、利用者の受け入れ体制を整えることが難しかった。9月にはお試しいベントとして、学院日本語コースの「ママの日本語」と手づくりの布おもちゃづくり「ぬいぬい」を共同で開催したが、広報に苦戦し、新規参加者を呼ぶことはできなかった。

メンバーも複数の会員活動をしていることもあり、人、物、場所、時間と必要な条件が一つとして揃わない状況に置かれているので、活動をほぼ休止状態にせざるを得なかった。

次年度も状況が一転することはないが、メンバーを増やす、持ち物の棚卸しをする、広報を見直す、年間の定期開催を決め予め時間の確保をする、など根本的な対策を練る時間をとることから始め、メンバーの活動とのよいバランスを模索していきたい。

●活動実績

開催日	プログラム、イベント名 (場所：神戸YWCA会館)	講師数	活動対象者		その他		総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
9月26日	ぬいぬい	1	3	1		1	6
延参加人数 (全1回)			3	1		1	6

弓の木歌の集い

代表 橋本静子
メンバー 2人

●活動方針・目標

弓木南市営住宅の高齢者を対象に、歌を通して生活の活性化と親睦を図る。

●活動報告

コロナ発生以来、昨年に引き続き今年度も休会中となった。しかし、弓木南市営住宅側の世話役の方々も、神戸YWCAボランティア側も共に高齢化していることから、2022年度をもって活動を終了することとした。

わいわいダイルーム

代表 新井育子、高原佐美
メンバー 4人
担当職員 塩見洋子、吉田好江

●活動方針・目標

- ・新型コロナウイルス感染予防に努めて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・地域の中で、利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉等の専門職との

顔の見える関係をつくり、連携を図る。

●活動報告

会場が分室から会館に移転し、管轄する地域包括支援センターが「新神戸」から「三宮」に変わった。分室での利用者7人のうち5人が継続、新規はまごの手スタッフの協力もあり4人、利用者登録数は合計9人になった。しかし、手術入院、ケガなどの体調不良や、猛暑、雨天といった天候不順のために欠席者が相次ぎ、参加者は平均4人である。参加者1人の場合は中止にするよう神戸市から新たに指導があり、警報発令日も合わせて2回活動を中止した。登録者を多くすることで参加者を増やし、活気のある活動にしたい。今年度は、2年続いた感染拡大による事業自粛の指示はなく、換気、消毒、黙食といったコロナウイルス感染予防対策を取りながら通常プログラムを行うことができた。マスクをしながらの歌唱や黙食ではあるが、皆で食事もでき、参加者の方々はとても喜んでいる。新しい講師（音楽療法士、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士など）が増え、会員による新企画レクリエーション、保育園児との交流など、会館ならではのプログラムができた。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名 サービス責任者名	参加人数	
				利用者	スタッフ
4月5日	第1回わいわいデイルーム	介護予防講座 / 作業療法士 家庭で役立つリハビリ	講師：谷合公江 サービス責任者：新井育子	4	4
4月12日	第2回わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：新井育子	4	5
4月19日	第3回わいわいデイルーム	音楽教室 / 音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：吉田好江	3	6
4月26日	第4回わいわいデイルーム	クラフト / 季節の折り紙	講師：徳岡和美 サービス責任者：高原佐美	3	5
5月10日	第5回わいわいデイルーム	介護予防講座 / 管理栄養士 フレイル・低栄養予防	講師：村山美知 サービス責任者：新井育子	3	4
5月17日	第6回わいわいデイルーム	クラフト 木製知恵の輪づくり	講師：青柳正 サービス責任者：高原佐美	4	5
5月24日	第7回わいわいデイルーム	カロムゲーム	講師：徳岡和美 サービス責任者：吉田好江	4	6
5月31日	第8回わいわいデイルーム	運動教室 / 健康運動指導士 デュアルタスクトレーニング など	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	5	5
6月7日	第9回わいわいデイルーム	運動教室 / 健康運動指導士 デュアルタスクトレーニング など	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	5	5
6月14日	第10回わいわいデイルーム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：新井育子	3	5
6月21日	第11回わいわいデイルーム	クラフト デジタル時計づくり	講師：青柳正 サービス責任者：吉田好江	4	4
6月28日	第12回わいわいデイルーム	介護予防講座 / 理学療法士 介護予防と転倒予防	講師：大津谷厚子 サービス責任者：高原佐美	5	6
7月5日	第13回わいわいデイルーム	介護予防講座 / 看護師 夏の健康管理	講師：豊山紀子 サービス責任者：新井育子	1	5
7月12日	第14回わいわいデイルーム	警報発令のため中止		0	0
7月19日	第15回わいわいデイルーム	絵手紙	講師：森下元子 サービス責任者：吉田好江	2	5
7月26日	第16回わいわいデイルーム	ストレッチ	講師：中川郷子 サービス責任者：高原佐美	5	5
8月9日	第17回わいわいデイルーム	参加者1人のため中止		0	0
8月16日	第18回わいわいデイルーム	歯科医の話 口腔ケアオーラルフレイル予防	講師：池端伯子 サービス責任者：新井育子	5	4
8月23日	第19回わいわいデイルーム	クラフト 綿棒でカード立てを作ろう	講師：新井育子 サービス責任者：高原佐美	3	5
8月30日	第20回わいわいデイルーム	朗読 音楽療法	講師：田中和美・川上和恵 サービス責任者：新井育子	5	4
9月6日	第21回わいわいデイルーム	介護予防講座 / 看護師 健康寿命を延ばそう	講師：近藤育子 サービス責任者：吉田好江	5	4
9月13日	第22回わいわいデイルーム	音楽教室 / 音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：新井育子	5	4
9月20日	第23回わいわいデイルーム	クラフト ぬり絵でランチョンマット	講師：青柳正 サービス責任者：吉田好江	5	4

●活動報告

今年の活動場所は分室から会館に移り、地域、会場の環境、参加者の状況すべてが初めてのスタートとなった。カフェは毎月第2・第4木曜日の13時30分から15時30分までオープン。当日は参加者なるべく広く座れるよう会場セッティングを行い、自由に過ごしてもらえるように心がけている。カフェの参加者は雑誌、レコード、CD、ピアノの生演奏などをたのしみながら、三々五々お茶の時間を過ごしている。神戸YWCAの交流スペースとしての働きを目指しているが、4月からオープン20数回を重ね、少しずつ新しい参加者も増え、最近はおしゃべりにも花が咲くようになってきた。

これまで3回のガレージセールにもカフェとして参加して、神戸YWCAの他のグループとの交流ができる場所としての役割を経験した。このようなプログラムを積み重ねることを通して、地域にもオープンなカフェを目指したい。下半期はDVD鑑賞も加わり、また、神戸YWCAのグループや関係者が活動のお誘いや、情報提供などができる時間も設けた。今後も神戸YWCAに関わる人が覗きたくくなるような場所、仲間を見つける場所、各グループが交流できる場所などとしての役割を担っていきたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	参加人数		合計
			来訪者	スタッフ	
4月14日	第1回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	6	3	9
4月28日	第2回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	7	4	11
5月12日	第3回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	2	3	5
5月26日	第4回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	4	14
6月9日	第5回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	6	3	9
6月23日	第6回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	3	4	7
7月14日	第7回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	3	3	6
7月28日	第8回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	2	2	4
8月25日	第9回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	8	4	12
9月8日	第10回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	4	14
9月22日	第11回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	4	14
10月13日	第12回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	11	4	15
10月27日	第13回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	8	3	11
11月10日	第14回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	14	4	18
11月24日	第15回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	3	13
12月8日	第16回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	14	4	18
12月22日	第17回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	9	3	12
1月12日	第18回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞 / 映画を楽しむ	10	4	14
1月26日	第19回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞 / 映画を楽しむ	10	4	14
2月9日	第20回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞 / 映画を楽しむ 平和活動グループによる安保3文書についての話	16	4	20
3月9日	第21回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	11	3	14
3月23日	第22回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞 / 映画を楽しむ	10	4	14
延参加人数 (全22プログラム)			190	78	268

開催日	イベント (場所：神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	木曜カフェから参加人数
6月25日	ガレージセール	コーヒー販売	3
9月17日	ガレージセール	コーヒー販売	3
12月10日	ガレージセール	コーヒー販売	3

わいわい食事会



休会中

日本語教師養成コース

講師 櫻井かおり（主任）、小川佐由理（副主任）、小林麻紀子、斎藤明子、福井武司、水野マリ子
 担当職員 千葉真理子

●事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

●事業報告

春の「日本語ボランティア養成講座（入門編）」は、対面で実施できた。受講生からの要望により、「続編」も開講した。「続編」は、外国人学習者も参加して、より実践的な内容の講座となった。

日本語教育実習を、8月に帝塚山学院大学と神戸女学院大学、2月に甲南女子大学の計3大学から受け入れた。

講師・アドバイザー派遣事業では、国際交流協会などでの日本語ボランティア養成講座講師、中央区社会協議会などでのやさしい日本語講座／勉強会講師、市立兵庫中学校北分校等などでの日本語指導研修の講師派遣を行った。また、神戸YWCA保育園の保育士・職員を対象に「やさしい日本語」研修を開催した。

●事業実績

コース名	期間	内容（主催）	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習 受け入れ	8月1～5日	日本語教育実習（帝塚山学院大学）	1	2	1	-
	8月1～5日	日本語教育実習（神戸女学院大学）	1	8	1	-
	2月15、17日	日本語教育実習（甲南女子大学）	1	3	1	-
日本語 ボランティア 養成講座	5月29日～6月26日	春「入門編」	1	12	1	1
	7月30日、 8月6、27日、9月3日	春「続編」	1	9	1	1
講師派遣・ アドバイザー派遣	4月4日、7月6日、 11月30日	日本語指導研修（神戸市立兵庫中学校北分校）	1	-	1	1
	5月21日	日本語ボランティアブラッシュアップ講座 （明石国際文化創生財団）	1	-	1	1
	5月25日	園長会研修 保育園で使う「やさしい日本語」 （神戸市私立保育園連盟）	1	-	1	1
	6月15、22日	日本語指導研修（神戸市立丸山中学校西野分校）	1	-	1	1
	6月16、17、20日、 9月30日、10月3日	日本語指導研修 （尼崎市立成良中学校琴城分校）	1	-	1	1
	8月3、10日	やさしい日本語講座（加東市まちづくり政策部）	1	-	1	1
	8月27日、9月3、10、 17、24日、10月1日	日本語学習支援ボランティア養成講座 （明石国際文化創生財団）	1	-	1	1
	9月12日	やさしい日本語研修 （神戸大学大学院保健学研究科）	1	-	1	1
	10月2、16、23日	日本語教室ボランティア養成講座 （小野市国際交流協会）	1	-	1	1
	10月17日	保育園で使う「やさしい日本語」 （神戸YWCA 保育園）	1	-	1	1
	10月22日	やさしい日本語講座 於：高丘コミセン （明石市コミュニティ・センター/ 明石国際文化創生財団）	1	-	1	1
	11月7日	雲中小学校「やさしい日本語の勉強会」 （神戸市中央区社会福祉協議会）	1	-	1	1
	12月3日	やさしい日本語講座 於：衣川コミセン（明石市 コミュニティ・センター/明石国際文化創生財団）	1	-	1	1
	12月10日	やさしい日本語講座 於：魚住コミセン （明石市コミュニティ・センター/ 明石国際文化創生財団）	1	-	1	1
	1月17日	葺合高等学校「やさしい日本語の勉強会」 （神戸市中央区社会福祉協議会）	1	-	1	1
	2月9日	やさしい日本語研修【災害編】 （大阪府国際交流財団）	1	-	1	1
	3月11日	日本語ボランティアブラッシュアップ講座 （明石国際文化創生財団）	1	-	1	1

外国語コース

講師 バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クローン、ポール・ボテロ、ドック・ケイン、アンキタ・ヴェルマ、デレク・ニヘイ、土井川佳世子、鄭京淑、日方京子、文雅炫
職員 秋月啓子

●事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

●事業報告

レギュラーコースは、英語2クラス、韓国語初級を1クラス、3学期とも開講した。
プライベートコースは、時折休講しながらも継続している。
カスタムコースは「シニア英会話クラス」を3学期とも開講した。
オフキャンパスは、「コープカルチャー宝塚・英会話A・Bクラス」は月4回のペースで実施した。コープこうべがカルチャー事業を閉じることになり、コープカルチャー宝塚は2023年12月をもって閉鎖となる予定である。「兵庫県英会話Dクラス(年20回)」は6月23日から開講した。
公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校の英語講義は、今年度より2年生クラスのみ、新講師を採用し担当した。独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校の英語講義(後期)は、10月17日より昨年同様の日本人講師1人、ネイティブの新講師1人が担当した。
公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校の英語講義は、1年生クラスに新講師を採用、2年生は昨年と同じ講師が担当した。独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校の英語講義(後期)は、10月18日より昨年同様の講師2人が担当した。

●事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	春・秋・冬学期各12回(英語2・韓国語1)	3	12	延108	3
プライベートコース	英語	2	4～5	延65	2
カスタムコース	シニア英会話	1	4	36	1
	兵庫県英会話Dクラス	1	8	20	1
オフキャンパス	コープカルチャー宝塚(ネイティブ英会話A・B)	2	15	40	1
	公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校	1	70	15	1
	独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校	2	70	26	2
	独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校	2	70	26	2

文化教養コース

講師：岩崎ひかる
担当職員：秋月啓子

●事業方針・目標

芸術・文化に触れ、エンパワメントされる講座を企画する。

●事業報告

ピアノ、発声・歌唱とも、5階チャペルのグランドピアノでゆっくりレッスンを受けることができる。今年度も引き続き1対1のプライベートレッスンを実施し、3～5人の受講生が毎月第2・第4月曜日の夕方～夜にレッスンを続けることができた。体験レッスン1人の申し込みがあった。

●事業実績

コース名(神戸YWCA会館)	講師	講座・プログラム名	在籍者数	回数
ピアノ教室	岩崎ひかる	プライベートレッスン	2	延41
発声&歌唱教室	岩崎ひかる	プライベートレッスン	4	延61

多文化共生ボランティア部

休部中

IV 活動共通事業

運営委員会

会長	木村文子	副会長	斎藤明子、宮田泰子
会計	岩切幸子	書記	金本美子、福田百
担当職員	西本玲子		

●活動方針・目標

- ・神戸YWCAは何を行う団体か、本質的なミッションの明確化と共有。
- ・その上で組織のあり方を協議し、しなやかで強く、安心して活動できる機構とする。
- ・ユース・ミドル・シニアのすべての世代が協働できる組織づくりを進める。

●活動報告

2022年度は「一人ひとりが大切にされる社会」をビジョンとし、「つながりの意味を深め、共に動こう」を活動目標として、2年目となる新組織の運営にあたった。運営委員のメンバーは6人、月1回の委員会を持った。オンライン形式の利便性を活かし、対面形式との併用で行われている。

「平和と人権センター」では、「世界・平和」「環境・暮らし」「ユース・エンパワーメント」各委員会において、活動の温度差はあるものの、それぞれの活動に取り組んだ。また、会員間のメールでの情報共有の場として「つながるプロジェクト」を継続して行っている。6月には2年ぶりに「キックオフ・ミーティング」を開催した。各グループ活動からのアピールと共に、新組織の認知度や会費、各活動の運営方法などについてアンケートを実施し、会員の意見の吸いあげを図った。11月の「進捗報告会」では、グループの位置づけを含めた会員活動全体の在り方、会費制度、プロジェクト制のルールやコロナ禍における活動支援、セーフスペースづくりなどの課題について報告、討議した。グループ活動に関しては、活動規定の作成を行い、グループどうしが密に協働することで、会員活動全体も活性化することを目指した。上記について、3月の定期会員集会で承認を得た。

また、ガレージセールを開催し、神戸YWCA全事業が協働し、つながり、地域にアピールする「場」を作った。なお、新しい仲間募集のためのボランティア説明会は実施できなかった。

全国YWCA関連では、日本YWCA主催研修「若い女性のエンパワメント事業を推進するファシリテーター要請講座」「社会変革に挑むYWCAの組織ガバナンス」「YWCAフェスタ」「バーチャルde地域YWCA訪問」に参加した。4市YWCA（京都・大阪・名古屋・神戸）に関する動きは、今年度はほぼみられなかった。

●活動実績

開催日	委員会（付記以外、神戸YWCA会館でのハイブリッド）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数（全回数）	平均参加人数
3月19日	第1回運営委員会	新旧運営委員の引き継ぎ事項確認、役員選出、委員会開催方法および日程、プログラム担当者、委員会メンバー募集チラシ	7	86 (全14回)	6
4月9日	第2回委員会	2021年度事業報告、委員会メンバー募集チラシ、2022年度検討課題：内容確認と今後の進め方	6		
5月14日	第3回委員会	日本YWCA運営委員候補者推薦、「キックオフ・ミーティング」の目的・内容・担当者、ミニバザーの開催、2022年度検討課題	6		
6月11日	第4回委員会	「バーチャルde地域YWCA訪問」担当者、「若い女性のエンパワメント研修」参加者等、「キックオフ・ミーティング」当日の内容	7		
7月9日	第5回委員会	「バーチャルde地域YWCA訪問」の内容、「キックオフ・ミーティング」振り返り、ミニバザーの振り返りと今後、2022年度検討課題についてアンケート結果の共有	7		
8月13日	第6回委員会	2022年度検討課題、理事会からの財政等報告	6		
9月10日	第7回委員会	「YWCAフェスタ」「社会変革に挑むYWCAの組織ガバナンス」参加者、2022年度検討課題、「進捗報告会」プログラム案と広報検討	5		
10月8日	第8回委員会	平和と人権センターやその他会員活動への配賦分担額の報告、2022年度検討課題、「進捗報告会」プログラムと当日担当者	7		
11月12日	第9回委員会	進捗報告会最終確認、「バーチャルde地域YWCA訪問」の内容、2023年度神戸YWCAビジョン・活動目標、定期会員集会の内容確認、理事会報告：2023年度予算作成	7		
12月10日	第10回委員会	「進捗報告会」の振り返り、2022年度検討課題、2023年度神戸YWCAビジョン・活動目標について協議	7		
12月26日	第11回委員会	定期会員集会に向けて運営委員会からの提案内容、2023年度活動目標	4		
1月14日	第12回委員会	定期会員集会に向けて提案内容の最終承認、議案説明会の内容、2023年度活動目標、「バーチャルde地域YWCA訪問」最終確認	5		

2月4日	第13回委員会	定期会員集会に向けて各議事内容の承認（前回議事録、運営委員会活動報告および計画、会員活動の活動報告と会計報告、計画案および予算案の承認、5つの課題への取り組みと提案、当日タイムスケジュール、発議担当者）、共催承認	5	
3月11日	新旧運営委員会（対面のみ）	新旧運営委員の引き継ぎ事項確認、役員選出、委員会開催方法および日程、プログラム担当者、委員会メンバー募集チラシ	7	

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館でのハイブリッド)	テーマ・主な内容	参加人数
6月27日	キックオフ・ミーティング	グループ紹介、活動スケジュールのカレンダー共有、2022年度検討課題アンケートの趣旨説明	19
11月12日	進捗報告会	委員会報告、2022年度検討課題の確認と運営委員会の現時点での提案内容の紹介・質疑応答、委員会メンバー募集、理事会報告	22
2月25日	第102回定期会員集会議案説明会（神戸YWCA会館のみ）	5つの課題への取り組みと提案について説明、質疑応答	9
3月11日	第102回定期会員集会	理事会報告、前回議事録承認、2022年度事業報告・会計報告、5つの課題への取り組みと提案、2023年度事業計画・予算、2023年度運営委員・指名委員選出、2023年度標語聖句決定	出席 26 委任 60
6月25日、 9月17日、 12月10日	ミニガレッジセール (神戸YWCA会館のみ)	地域に向けた神戸YWCAの事業・活動の広報とファンドレイジング	約100
延参加人数（全5プログラム）			176

日本YWCA主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名 (全てオンライン)	テーマ・主な内容	神戸YWCA参加人数
5月28日	加盟YWCA中央委員会	2021年度日本YWCA事業報告・決算、2022年度日本YWCA事業計画・予算の承認、地域YWCAジェンダー活動交流会（発題者としてジェンダーグループ参加）	7
11月26日	加盟YWCA臨時全国会員総会 / YWCAフェスタ2022 出会う！つながる！共に社会を変える	日本YWCA運営委員の選出およびフェスタ（分科会）	8
7月9日、 8月6日	若い女性のエンパワメント事業を推進するファシリテーター養成講座（日本YWCA主催）	ユースをエンパワメントするファシリテーター養成	2
10月10日、 11月13日、 1月22日	社会変革に挑むYWCAの組織ガバナンス（日本YWCA主催）	所属YWCAの組織ガバナンスについて考え、課題を見つけ、具体的解決に向けて実行する	2
2月25日	バーチャル de 地域YWCA訪問（日本YWCA主催）	ZOOMでのライブ出演と神戸YWCAの紹介動画の配信（こどもいいんかいと協働）	9
延参加人数（全5プログラム）			28

定期会員集会準備会

代表 川関敏恵
メンバー 3人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

会員活動の意思決定機関である定期会員集会が滞りなくかつ適正に開催されるよう、準備・運用を行う。

●活動報告

第103回定期会員集会に向けて、集会準備全般と当日進行を行った。

●活動実績

開催日	委員会 (場所：神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
1月18日	第1回委員会	代表選出、第102回定期会員集会の振り返り、第103回定期会員集会の開催方法確認、集会当日の役割担当者と依頼者、出欠ハガキの内容	6	30 (全8回)	3
2月1日	作業	議案資料の校正作業	2		
	第2回委員会	当日の役割担当者	4		

	作業	出欠ハガキ発送作業、議案資料の校正作業	2		
2月21日	作業	議案資料発送作業	5		
2月27日	打ち合わせ	当日タイムスケジュールと会場設営	3		
3月4日	打ち合わせ	当日の役割担当者で段取り確認	5		
3月10日	準備	会場設営など	3		
3月11日	第103回定期会員集会	運営委員会欄に記載			

指名委員会

代表 小野木愛
 メンバー 5人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

定期会員集会に向けて、会員の中から運営委員および指名委員を指名する

●活動報告

運営委員の推薦および指名委員の推薦を行った。運営委員定員6人を満たすためには3人の推薦者が必要だったが、2人の推薦者を挙げるのみとなり、1人欠員となった。

●活動実績

開催日	委員会（付記以外、神戸YWCA会館）	参加人数	延参加人数 （全回数）	平均参加人数
11月30日	第1回委員会	7	28（全4回）	7
12月7日	第2回委員会	7		
1月10日	第3回委員会	7		
1月24日	第4回委員会（オンライン）	7		

会員委員会

代表 鶴崎祥子
 メンバー 4人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

神戸YWCA会員の親睦のために活動する。

●活動報告

今年度もコロナ禍にあり、委員会メンバーもシニア構成で活動ができなかった。しかし、誕生日カードの発送（会員・会友のお誕生日に合わせてカードを送る）は、メンバーのひとりの力で、コロナ禍にあっても継続できた。今年度は残念ながら多くを実施できなかったが、次年度は他の委員会との横のつながりをもって、神戸YWCAの居場所となる企画を検討したい。

●活動実績

開催日	ミーティングなど	主な議事内容など	参加人数
毎月	誕生日カード発送	会員・会友・賛助員の誕生日に合わせてカードを発送（115通）	1

キリスト教基盤委員会

代表 : 宮田泰子
 メンバー : 7人
 担当職員 : 西本玲子

●活動方針・目標

神戸YWCAにおけるキリスト教基盤を理解するための活動を推進する。

●活動報告

コロナ感染症の影響により、委員会は9月から概ね月1回開催し、後期のプログラムなどについて話し合った。活動方針・目標に従い、神戸YMCA・YWCA合同祈禱週、神戸YWCAクリスマスなどを通じて、キリスト教基盤を共有すること、キリスト教基盤を通して神戸YWCAの会員や各活動がつながることができるように取り組んだ。

4月のイースター礼拝は、神戸YWCAとしては開催しなかった。合同祈禱週礼拝では「運動の拡がりに火をともし～祈りによって～」をテーマに、ネヴダル・クリストファーさん（西宮南福音ルーテル教会協力宣教師）からメッセージをいただいた。クリストファーさんは、かつて神戸YWCA学院で日本語を学んだことがあり、このような形で再びお迎えできたことは喜びであった。

クリスマス礼拝では、「祈りのろうそくでつながろう」のテーマのもと、古澤百代さん（神戸東部教会牧師）よりメッセージをいただいた。礼拝では、神戸YWCAのそれぞれの活動から出てきた祈り（願いや希望）をリタニー（連禱）でつないだ。会場での開催が3年ぶりとなったが、クリスマスマーケットやお茶の時間もあり、久しぶりに和やかな親睦の時となった。

世界祈禱日は日本基督教団が担当団体となり、神戸聖愛教会において開催された。

2023年4月のイースターは、神戸YWCA独自で企画実施することになり、準備作業に取り組んだ。

●活動実績

開催日	委員会（付記以外、神戸YWCA会館）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
9月8日	第1回委員会	メンバー紹介、下半期プログラムの確認、合同祈禱週メッセージ検討	7	72 (全14回)	5
9月14日	第2回委員会	合同祈禱週プログラム・メッセージ候補者選定、クリスマス企画	5		
9月29日	第1回クリスマス委員会	2022年度クリスマスについて意見交換、日程と内容の決定、奨励者候補選定	5		
10月19日	第3回委員会	合同祈禱週最終確認、クリスマス企画承認、クリスマスまでの全体スケジュール確認	8		
11月15日	第4回委員会	合同祈禱週振り返り、クリスマス企画（内容、クリスマスマーケット、席上献金の使途等）承認	5		
11月21日	第2回クリスマス委員会（神戸東部教会）	クリスマス打ち合わせ（講師との全体内容およびリタニーの確認）	4		
11月28日	作業	クリスマス飾り付け作業、クリスマスカード発送	7		
12月1日	作業日（神戸聖愛教会）	クリスマス用ケーキづくり	3		
1月13日	第5回委員会	クリスマス企画（振り返り、席上献金の使途決定）、世界祈禱日担当者、2022年度活動報告、2023年度活動計画、2023年度標語聖句候補	6		
1月18日	世界祈禱日 第1回実行委員会（神戸聖愛教会）	2023年世界祈禱日プログラムのための確認と役割分担	3		
2月3日	第6回委員会	世界祈禱日のシナリオ確認、担当者選定、イースター企画	6		
2月15日	世界祈禱日 第2回実行委員会（神戸聖愛教会）	2023年世界祈禱日プログラムのための確認と役割分担	2		
2月17日	イースター委員会	全体プログラムの内容検討	3		
3月3日	第7回委員会	イースター企画の確認と検討、広報	6		

開催日	プログラム・イベント名（付記以外、神戸YWCA会館）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月15日	神戸YMCA/神戸YWCA合同祈禱週合同礼拝	運動の拡がりに火をともし～祈りによって～	ネヴダル・クリストファー 「神の愛が心に注がれている」（西宮南福音ルーテル教会協力宣教師）	37 (神戸Yは16)
12月3日	神戸YWCAクリスマス祈りのろうそくでつながろう	クリスマスメッセージとリタニー（連禱）、クリスマスマーケット	古澤百代 (日本基督教団神戸東部教会牧師)	19
3月3日	神戸・阪神地区世界祈禱日礼拝（日本基督教団神戸聖愛教会）	台湾からのメッセージ「あなたがたの信仰について 聞いています」	小栗 献 (日本基督教団神戸聖愛教会 牧師)	113 (神戸Yは6)

100周年記念事業実行委員会 記念誌プロジェクト

代表 鶴崎祥子
 メンバー 3人
 担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

神戸YWCAは2020年3月に創立100周年を迎えた。創立100周年記念事業全体の企画・運営を行う。

●活動報告

記念誌プロジェクトは、2022年度も引き続き編集作業を続け、『神戸YWCA 100年のあゆみ』として11月20日付で500部を発行した。頒価1,000円。

V 広報・ファンドレイジング

機関紙編集委員会

代表 岩切幸子
 メンバー 2人
 担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために持続可能な形で機関紙を発行する。

●活動報告

機関紙を年6回（偶数月）各1,000部（12月号から800部）発行した。オンラインと対面による編集会議・作業で時間と労力が削減できた。コロナ禍で休止していた会員活動が少しずつ始動したことで、前年に比べると記事探しにはあまり苦労しなかった。

1面は、4・5月号「福島からいま伝えたいこと」（半澤敦子・福島YWCA会員、小淵真理・アウシュヴィッツ平和博物館長）、6・7月号『復帰』後を生きる」（國分美生・沖縄YWCA会員）、8・9月号「戦争と私」（橋本静子・神戸YWCA会員）、10・11月号「神戸YWCA保育園が大切にしていること」（梅川玲子・神戸YWCA保育園園長）、12・1月号「アメリカより」（アン・モーア・神戸YWCA会員）、2・3月号「変革のためのリーダーシップ養成」（野村春美・神戸YWCA会員）。新組織による活動の定着促進のための取り組みや、グループの活動紹介を連載した。「まごの手ヘルパー徒然記」「たてごと」も連載した。また、保育園や学院の記事を掲載し、園児募集や寄付への協力の呼びかけにも努めた。

機関紙編集委員会は組織包括オフィスに属し、法人としての広報紙を目指している。各センターの担当者との会議を定期的に開催し、情報共有と紙面づくりを行いたい。

●活動実績

開催日	委員会（場所：神戸YWCA会館）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数（全回数）	平均参加人数
4月11日	第1回委員会（ハイブリッド）	4・5月号振り返り、6・7月号企画	4	32 （全8回）	4
4月25日	機関紙意見交換会	各センターの情報共有と紙面づくり	5		
6月6日	第2回委員会（ハイブリッド）	6・7月号振り返り、8・9月号企画	4		
8月22日	第3回委員会（ハイブリッド）	8・9月号振り返り、10・11月号企画	4		
10月3日	第4回委員会	10・11月号振り返り、12・1月号企画	4		
12月13日	第5回委員会（ハイブリッド）	12・1月号振り返り、2・3月号企画	4		
2月6日	第6回委員会（オンライン）	2・3月号振り返り、4・5月号企画	3		
3月25日	機関紙の今後を考えるミーティング	アンケート回答結果、発行回数、内容	4		

開催日	プログラム・イベント名（場所：神戸YWCA会館）	テーマ・主な内容	参加人数
4月4日	4・5月号作業	最終校正	4
4月11日	4・5月号作業	発送	5

5月16日	6・7月号作業	生原稿チェック	4
5月23日	6・7月号作業	レイアウトチェック	4
5月30日	6・7月号作業	最終校正	4
6月6日	6・7月号作業	発送	3
7月19日	8・9月号作業	生原稿チェック	4
7月25日	8・9月号作業	レイアウトチェック	4
8月1日	8・9月号作業	最終校正	4
8月8日	8・9月号作業	発送	5
9月12日	10・11月号作業	生原稿チェック	4
9月22日	10・11月号作業	レイアウトチェック	4
9月26日	10・11月号作業	最終校正	4
10月3日	10・11月号作業	発送	4
11月14日	12・1月号作業	生原稿チェック	4
11月21日	12・1月号作業	レイアウトチェック	4
11月28日	12・1月号作業	最終校正	4
12月5日	12・1月号作業	発送	5
1月16日	2・3月号作業	生原稿チェック	4
1月23日	2・3月号作業	レイアウトチェック	4
1月30日	2・3月号作業	最終校正	4
2月6日	2・3月号作業	発送	5
3月20日	4・5月号作業	生原稿チェック	3
3月27日	4・5月号作業	レイアウトチェック	4
延参加人数（全24プログラム）			98

ファンドレイジング実行委員会

代表 木村文子
 メンバー 1人
 担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

- ・会員活動の、持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・ファンド・広報について情報収集に努め、神戸YWCAを知ってもらう機会を増やす。

●活動報告

ミーティングは3回実施した。「YWCAオリジナルチャリティー・ドリップコーヒー」は、11月に賞味期限が迫ったため半額セールをおこない、完売することができた。次の発注は年末年始前に賞味期限が来ることを避けるため時期を遅らせ、3月上旬に入荷した。春井さんの天然はちみつは好調に売れ行きを伸ばしている。2月25日の日本YWCA「バーチャル de 神戸YWCA訪問」では、エキストラ珈琲さんと春井さんをCM風に宣伝する動画を作成した。コストコ商品などは継続的に販売し、定期的な収入を得ている。ガレージセールには毎回出店したが、売れ行きはあまりよくなかった。12月のガレージセールでは、春井さんのはちみつと無農薬の地元産レモンを使ったホットはちみつレモンが人気だった。クリスマスには例年通りアドベントカレンダーを販売した。ちくちく子ども手づくりの会は実施できなかった。

メンバーが少なく、大きなイベントなどの企画は難しいが、できる形でのファンドレイジングを模索したい。

●活動実績

開催日	ミーティング (場所:神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月21日	第1回 委員会	チャリティードリップコーヒー・春井さんのはちみつ、ミニミニバザー出店	3	9 (全3回)	3
8月2日	第2回 委員会	チャリティードリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、コストコ商品、ミニミニバザーふりかえり、「バーチャル de 地域YWCA訪問」のアイデア	3		

10月28日	第3回委員会	チャリティードリップコーヒー・春井さんの はちみつ販売、ガレージセール出店	3	
--------	--------	--	---	--

開催日	プログラム・イベント名（場所など）	テーマ・主な内容	参加人数
1月10日	エキストラ珈琲株式会社訪問（神戸市兵庫区）	チャリティードリップコーヒー	2
6月23日、11月29日	コストコ商品仕入れ		各1
2月9日	エキストラ珈琲株式会社訪問（神戸市兵庫区）	「バーチャル de 神戸YWCA訪問」 動画撮影	1
延参加人数（全3プログラム）			5

VI 法人

理事会



理事長 平山芳子
理事 大工原則子、野村春美、三浦啓子、宮田泰子、モーア アン
常務理事 西本玲子
業務執行理事 寺内真子

●方針・目標

神戸YWCAの中長期ビジョンを明確にし、安定的な財政構造改革を実施する。

●事業報告

2022年3月末に神戸YWCA分室を閉じたことで、今年度は、神戸YWCAのすべての会員活動と事業が会館に集約された。全活動が互いに出会い、連携し、弱みを補い、強みを活かす実践のスタートであった。一方で、2020年からのコロナ禍による各事業への影響は大きく、ひっ迫する財政状況の中、「財政構造改革」は喫緊の課題となった。

5月、日本YWCAに2020年度借り入れ未払い分の支払い延期と、更なる借り入れ申請を行った。6月には職員と理事との合同会議を開催、2022年度の事業状況、2023年度の展望について共有、協議した。7月、日本YWCA理事会との合同会議を開催。以後数回にわたり、日本YWCAからの資金借り入れ、事業の見直し、次年度計画・予算づくり、会館運用の可能性について協議を継続した。7月末には職員との緊急会議を開催した。9月、相談役からのアドバイスを受け、神戸YWCAの財政状況を再検討し、全事業において予算収入3%増、支出（人件費除く）20%減に取り組むことで、財政構造、組織構造の立て直しに取り組むことを決定。日本YWCAからの借り入れ申請は取り下げた。

12月、神戸市の「市営住宅コミュニティ活性化事業」に応募し、HAT神戸・灘の浜住宅南集会所の管理運営事業者として採択された。2023年4月から事業開始となる。

●実績

開催日	理事会（場所：神戸YWCA会館）	出席理事数	出席監事数	陪席者数
5月21日	2021年度第9回理事会	8	2	
6月18日	2022年度第1回理事会	7	2	
7月9日	2022年度第2回理事会	8	2	4
7月23日	2022年度第3回理事会	7	2	
8月27日	2022年度第4回理事会	7	2	
9月24日	2022年度第5回理事会	7	2	
11月5日	2022年度第6回理事会	7	2	
12月17日	2022年度第7回理事会	7	2	
1月21日	2022年度第8回理事会	7	2	
2月11日	2022年度第9回理事会	7	2	
3月27日	2022年度第10回理事会	7	2	

監事



監 事 川邊比呂子、川関敏恵

評議員会



評議員 川島恵美、島田恒、下村俊子、関本雅子、鶴崎祥子、寺澤京子、馬場一郎、藤野達也、松浦裕子

●実績

開催日	評議員会（場所：神戸YWCA会館）	出席評議員数	欠席評議員数	出席役員数
6月18日	第12回定時評議員会	8	1	3



カフェもぐもぐ



わいわいデイルーム



愛農人倶楽部

会 勢 報 告

2023年3月31日現在

会員・会友数

		2020年	2021年	2022年	増減
成人会員		111	115	104	-7
年少会員		0	0	0	0
合 計		111	115	104	-7
賛助員	個人	16	16	15	-1
	法人	1	1	0	-1
会 友		9	9	11	+2

会員・会友年齢別

年齢別	会員	会友
12歳未満	0	0
12～17歳	0	0
18～24歳	0	0
25～29歳	2	1
30～39歳	1	0
40～49歳	8	2
50～59歳	16	2
60～69歳	22	1
70～79歳	29	3
80歳以上	24	2
不 明	2	0
合 計	104	11

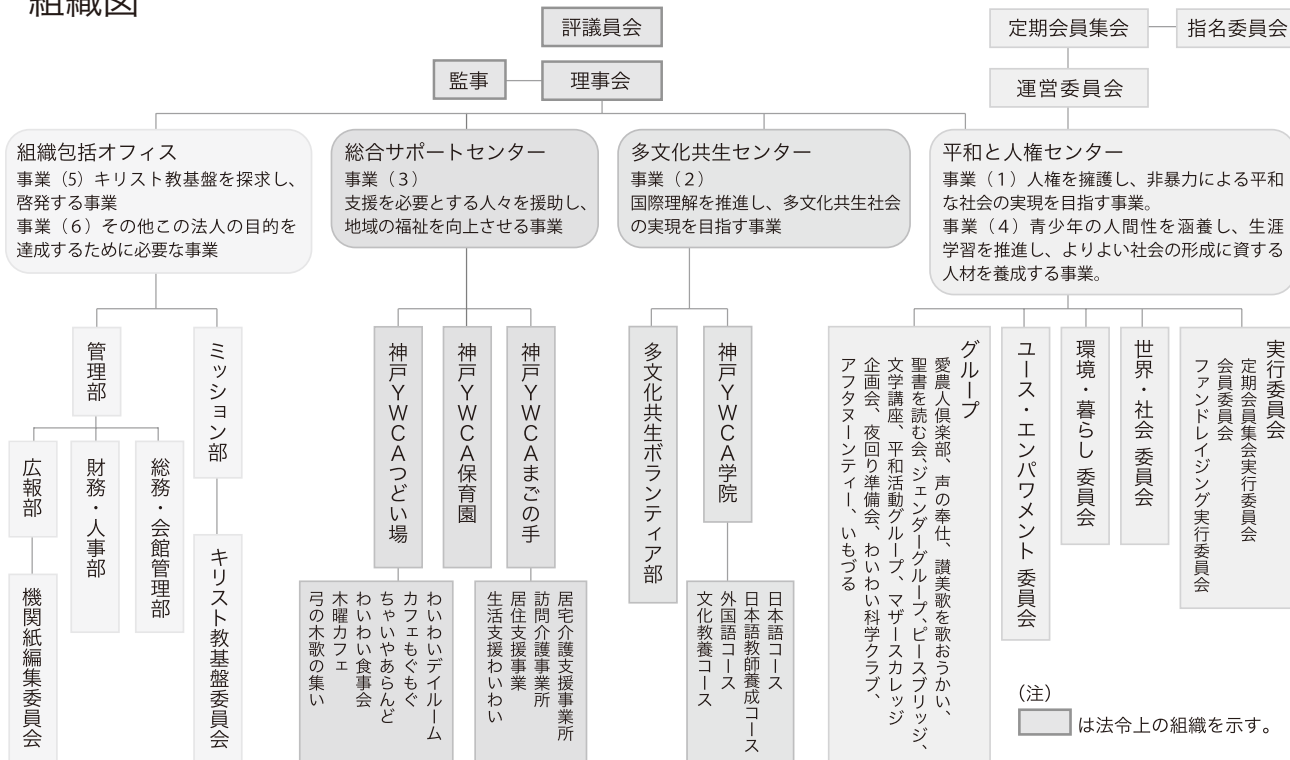
職員数

	女	男	合 計	備考
幹事職	8	0	8	
まごの手職員	5	0	5	
保育園職員	2	0	2	
パート職員 (総務)	1	0	1	
パート職員 (まごの手)	29	4	33	
パート職員 (保育園・保育)	5	1	6	
パート職員 (保育園・調理)	3	0	3	
学院講師	16	5	21	
合 計	69	10	79	

2022 年度 公益財団法人神戸 YWCA 組織図

<目的>

定款第3条 この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。



■ 評議員

川島 恵美
島田 恒
下村 俊子
関本 雅子
鶴崎 祥子
寺澤 京子
馬場 一郎
藤野 達也
松浦 裕子

■ 理事

理事長 平山 芳子
理事 大工原 則子
理事 野村 春美
理事 三浦 啓子
理事 宮田 泰子
理事 モーア・アン
常務理事 西本 玲子
業務執行理事 寺内 真子

■ 監事

監事 川関 敏恵
監事 川邊 比呂子

■ 運営委員

会長 木村 文子
副会長 斎藤 明子、宮田 泰子
書記 金本 美子、福田 百
会計 岩切 幸子

■ 職員 (幹事職)

総幹事 西本 玲子
幹事 秋月 啓子
幹事 梅川 玲子
幹事 寺内 真子
幹事 伝明地 敦子
幹事 塩見 洋子
幹事 吉田 好江
幹事補 千葉 真理子

* 2023年3月31日現在

決算報告書

第 102 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

公益財団法人 神戸YWCA

神戸市中央区二宮1丁目12-10

貸借対照表

公益財団法人 神戸YWCA

令和 5年 3月31日現在 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔 資 産 の 部 〕			
【 流 動 資 産 】			
現 金 預 金	7,761,704	4,691,067	3,070,637
未 収 金	11,846,531	14,110,744	△ 2,264,213
その他当座資産	8,410	8,390	20
貯 蔵 品	23,413	71,286	△ 47,873
前 払 金	0	19,470	△ 19,470
前 払 費 用	0	68,172	△ 68,172
立 替 金	1,478	2,222	△ 744
流動資産合計	19,641,536	18,971,351	670,185
【 固 定 資 産 】			
(基 本 財 産)			
その他基本財産	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(特 定 資 産)			
その他積立資産	1,263,958	1,504,958	△ 241,000
特定資産合計	1,263,958	1,504,958	△ 241,000
(その他固定資産)			
建 物	64,161,683	68,162,561	△ 4,000,878
什 器 備 品	149,646	257,424	△ 107,778
土 地	95,000,000	95,000,000	0
電 話 加 入 権	284,320	284,320	0
保 証 金	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	159,695,649	163,804,305	△ 4,108,656
固定資産合計	161,959,607	166,309,263	△ 4,349,656
資 産 合 計	181,601,143	185,280,614	△ 3,679,471
〔 負 債 の 部 〕			
【 流 動 負 債 】			
未 払 金	4,209,334	2,356,621	1,852,713
前 受 金	486,200	266,000	220,200
預 り 金	813,781	778,971	34,810
流動負債合計	5,509,315	3,401,592	2,107,723
【 固 定 負 債 】			
長期借入金	33,351,000	33,325,000	26,000
固定負債合計	33,351,000	33,325,000	26,000
負 債 合 計	38,860,315	36,726,592	2,133,723
〔 正 味 財 産 の 部 〕			
【 指 定 正 味 財 産 】			
地方公共団体補助金	10,637,900	11,456,200	△ 818,300
寄 付 金	1,263,958	1,504,958	△ 241,000
指定正味財産合計	107,901,858	108,961,158	△ 1,059,300
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,124,687)	(1,504,958)	(△ 380,271)
【 一 般 正 味 財 産 】			
その他一般正味財産	34,838,970	39,592,864	△ 4,753,894
一般正味財産合計	34,838,970	39,592,864	△ 4,753,894
(うち特定資産への充当額)	(139,271)	(0)	(139,271)
正 味 財 産 合 計	142,740,828	148,554,022	△ 5,813,194
負債及び正味財産合計	181,601,143	185,280,614	△ 3,679,471

附属明細書

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月 31日

公益財団法人 神戸YWCA

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 (UFJ 信託/神戸)	1,000,000	0	0	1,000,000
	基本財産計	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産	指定寄付金				
	居住支援事業	0	130,000	0	130,000
	100周年記念募金	300,000	0	300,000	0
	夜回り準備会	70,000	0	70,000	0
	被災者支援	29,000	0	0	29,000
	指導者養成	502,120	5,000	6,000	501,120
	神戸YWCA 学院	534,720	0	0	534,720
	神戸YWCA 保育園	69,118	0	0	69,118
特定資産合計	1,504,958	135,000	376,000	1,263,958	

※指定寄付金は、1,124,687 円は三井住友銀行 三宮支店 #9657246 に預入

139,271 円は現金保管

2. 引当金の明細

引当金はありません。

正味財産増減計算書

1頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔一般正味財産増減の部〕			
〔経常増減の部〕			
〔経常収益〕			
【基本財産運用益】			
基本財産受取利息	20	20	0
【受取会費】			
正会員受取会費	1,212,000	1,461,000	△ 249,000
特別会員受取会費	117,000	87,000	30,000
【事業収益】			
事業収益	102,515,629	99,446,027	3,069,602
【受取補助金等】			
受取国庫補助金	3,750,656	0	3,750,656
受取地方公共団体補助金	2,553,086	4,375,198	△ 1,822,112
受取民間補助金	200,000	0	200,000
受取地方公共団体助成金	220,000	0	220,000
受取民間助成金	22,100	123,800	△ 101,700
受取補助金等振替額	818,300	818,300	0
【受取寄付金】			
受取寄付金	5,674,047	4,510,764	1,163,283
受取寄付金振替額	376,000	320,000	56,000
【雑収益】			
受取利息	46	117	△ 71
雑収益	1,155,989	923,722	232,267
経常収益計	118,614,873	112,065,948	6,548,925
〔経常費用〕			
【事業費】			
給料手当	76,455,948	75,042,540	1,413,408
賞与	4,075,266	6,380,352	△ 2,305,086
退職給付費用	1,770,583	2,181,352	△ 410,769
法定福利費	7,101,142	8,303,346	△ 1,202,204
福利厚生費	491,033	297,601	193,432
その他人件費	4,859,131	4,595,809	263,322
広告宣伝費	0	341,000	△ 341,000
接待交際費	0	22,110	△ 22,110
旅費交通費	181,592	216,342	△ 34,750
通信運搬費	1,251,567	2,156,593	△ 905,026
減価償却費	4,120,644	3,594,699	525,945
消耗什器備品費	17,705	0	17,705
消耗品費	936,791	1,762,096	△ 825,305
修繕費	235,367	184,938	50,429
印刷製本費	274,364	190,282	84,082
燃料費	0	786	△ 786
光熱水料費	1,327,122	1,124,564	202,558
賃借料	1,204,691	1,114,736	89,955
保険料	255,380	453,583	△ 198,203
諸謝金	794,146	1,129,040	△ 334,894
租税公課	1,611,159	1,390,988	220,171
委託託費	1,477,950	2,386,512	△ 908,562
雑費	631,887	67,928	563,959
その他事業費	3,288,935	3,111,566	177,369
【管理費】			
給料手当	5,203,898	2,140,952	3,062,946
賞与	204,204	330,734	△ 126,530
退職給付費用	466,097	187,068	279,029
法定福利費	1,273,817	479,856	793,961
福利厚生費	16,531	6,859	9,672
その他人件費	165,090	67,966	97,124

正味財産増減計算書

2頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅 費 交 通 費	1,258	576	682
通 信 運 搬 費	134,188	144,104	△ 9,916
減 価 償 却 費	128,812	569,957	△ 441,145
消 耗 品 費	86,449	71,781	14,668
修 繕 費	46,933	18,356	28,577
印 刷 製 本 費	37,707	16,859	20,848
燃 料 費	0	94	△ 94
光 熱 水 料 費	419,920	121,244	298,676
貸 借 料 費	141,570	46,710	94,860
保 険 料	72,485	28,877	43,608
諸 謝 金	0	6,396	△ 6,396
租 税 公 課 金	41,441	217,612	△ 176,171
支 払 負 担 金	203,500	196,700	6,800
支 払 寄 付 金	20,000	0	20,000
支 払 利 息 費	175,002	195,852	△ 20,850
雑 費	18,105	7,745	10,360
そ の 他 管 理 費	2,149,357	1,546,270	603,087
経 常 費 用 計	123,368,767	122,451,331	917,436
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△ 4,753,894	△ 10,385,383	5,631,489
当 期 経 常 増 減 額	△ 4,753,894	△ 10,385,383	5,631,489
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 4,753,894	△ 10,385,383	5,631,489
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 4,753,894	△ 10,385,383	5,631,489
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	39,592,864	49,978,247	△ 10,385,383
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	34,838,970	39,592,864	△ 4,753,894
(指定正味財産増減の部)			
【受取寄付金】			
受 取 寄 付 金	135,000	70,000	65,000
【一般正味財産への振替額】			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 1,194,300	△ 1,208,300	14,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,059,300	△ 1,138,300	79,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	108,961,158	110,099,458	△ 1,138,300
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	107,901,858	108,961,158	△ 1,059,300
正 味 財 産 期 末 残 高	142,740,828	148,554,022	△ 5,813,194

正味財産増減計算書内訳表

1頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
〔一般正味財産増減の部〕				
〔経常増減の部〕				
〔経常収益〕				
【基本財産運用益】				
基本財産受取利息	0	0	20	20
【受取会費】				
正会員受取会費	0	0	1,212,000	1,212,000
特別会員受取会費	0	0	117,000	117,000
【事業収益】				
事業収益	102,478,179	102,478,179	37,450	37,450
【受取補助金等】				
受取国庫補助金	3,750,656	3,750,656	0	0
受取地方公共団体補助金	2,553,086	2,553,086	0	0
受取民間補助金	0	0	200,000	200,000
受取地方公共団体助成金	220,000	220,000	0	0
受取民間助成金	22,100	22,100	0	0
受取補助金等振替額	818,300	818,300	0	0
【受取寄付金】				
受取寄付金	1,940,197	1,940,197	3,733,850	3,733,850
受取寄付金振替額	370,000	370,000	6,000	6,000
【雑収益】				
受取利息	5	5	41	41
雑収益	209,880	209,880	946,109	946,109
経常収益計	112,362,403	112,362,403	6,252,470	6,252,470
〔経常費用〕				
【事業費】				
給料手当	76,455,948	76,455,948	0	0
賞与	4,075,266	4,075,266	0	0
退職給付費用	1,770,583	1,770,583	0	0
法定福利費	7,101,142	7,101,142	0	0
福利厚生費	491,033	491,033	0	0
その他人件費	4,859,131	4,859,131	0	0
旅費交通費	181,592	181,592	0	0
通信運搬費	1,251,567	1,251,567	0	0
減価償却費	4,120,644	4,120,644	0	0
消耗什器備品費	17,705	17,705	0	0
消耗品費	936,791	936,791	0	0
修繕費	235,367	235,367	0	0
印刷製本費	274,364	274,364	0	0
光熱水料	1,327,122	1,327,122	0	0
賃借料	1,204,691	1,204,691	0	0
保険料	255,380	255,380	0	0
諸謝金	794,146	794,146	0	0
租税公課	1,611,159	1,611,159	0	0
委託費	1,477,950	1,477,950	0	0
雑費	631,887	631,887	0	0
その他事業費	3,288,935	3,288,935	0	0
【管理費】				
給料手当	0	0	5,203,898	5,203,898
賞与	0	0	204,204	204,204
退職給付費用	0	0	466,097	466,097
法定福利費	0	0	1,273,817	1,273,817
福利厚生費	0	0	16,531	16,531
その他人件費	0	0	165,090	165,090

正味財産増減計算書内訳表

2 頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
旅 費 交 通 費	0	0	1,258	1,258
通 信 運 搬 費	0	0	134,188	134,188
減 価 償 却 費	0	0	128,812	128,812
消 耗 品 費	0	0	86,449	86,449
修 繕 費	0	0	46,933	46,933
印 刷 製 本 費	0	0	37,707	37,707
光 熱 水 料 費	0	0	419,920	419,920
賃 借 料	0	0	141,570	141,570
保 険 料	0	0	72,485	72,485
租 税 公 課	0	0	41,441	41,441
支 払 負 担 金	0	0	203,500	203,500
支 払 寄 付 金	0	0	20,000	20,000
支 払 利 息 費	0	0	175,002	175,002
雑 費	0	0	18,105	18,105
そ の 他 管 理 費	0	0	2,149,357	2,149,357
経 常 費 用 計	112,362,403	112,362,403	11,006,364	11,006,364
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	△ 4,753,894	△ 4,753,894
当期経常増減額	0	0	△ 4,753,894	△ 4,753,894
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 4,753,894	△ 4,753,894
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 4,753,894	△ 4,753,894
一般正味財産期首残高	△ 11,535,913	△ 11,535,913	△ 31,126,219	△ 31,126,219
一般正味財産期末残高	△ 11,535,913	△ 11,535,913	△ 35,880,113	△ 35,880,113
〔指定正味財産増減の部〕				
【受取寄付金】				
受取寄付金	135,000	135,000	0	0
【一般正味財産への振替額】				
一般正味財産への振替額	△ 1,194,300	△ 1,194,300	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 1,059,300	△ 1,059,300	0	0
指定正味財産期首残高	12,661,158	12,661,158	0	0
指定正味財産期末残高	11,601,858	11,601,858	0	0
正味財産期末残高	65,945	65,945	△ 35,880,113	△ 35,880,113

正味財産増減計算書内訳表

3頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 (単位:円)

科 目	内部取引等消去	合 計
〔一般正味財産増減の部〕		
〔経常増減の部〕		
〔経常収益〕		
【基本財産運用益】		
基本財産受取利息		20
【受取会費】		
正会員受取会費		1,212,000
特別会員受取会費		117,000
【事業収益】		
事業収益		102,515,629
【受取補助金等】		
受取国庫補助金		3,750,656
受取地方公共団体補助金		2,553,086
受取民間補助金		200,000
受取地方公共団体助成金		220,000
受取民間助成金		22,100
受取補助金等振替額		818,300
【受取寄付金】		
受取寄付金		5,674,047
受取寄付金振替額		376,000
【雑収益】		
受取利息		46
雑収益		1,155,989
経常収益計		118,614,873
〔経常費用〕		
【事業費】		
給料手当		76,455,948
賞与		4,075,266
退職給付費用		1,770,583
法定福利費		7,101,142
福利厚生費		491,033
その他人件費		4,859,131
旅費交通費		181,592
通信運搬費		1,251,567
減価償却費		4,120,644
消耗什器備品費		17,705
消耗品費		936,791
修繕費		235,367
印刷製本費		274,364
光熱水料		1,327,122
賃借料		1,204,691
保険料		255,380
諸謝金		794,146
租税公課		1,611,159
委託費		1,477,950
雑費		631,887
その他事業費		3,288,935
【管理費】		
給料手当		5,203,898
賞与		204,204
退職給付費用		466,097
法定福利費		1,273,817
福利厚生費		16,531
その他人件費		165,090

正味財産増減計算書内訳表

4頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 (単位:円)

科 目	内部取引等消去	合 計
旅 費 交 通 費		1,258
通 信 運 搬 費		134,188
減 価 償 却 費		128,812
消 耗 品 費		86,449
修 繕 費		46,933
印 刷 製 本 費		37,707
光 熱 水 料 費		419,920
賃 借 料 費		141,570
保 険 料		72,485
租 税 公 課		41,441
支 払 負 担 金		203,500
支 払 寄 付 金		20,000
支 払 利 息		175,002
雑 費		18,105
そ の 他 管 理 費		2,149,357
経 常 費 用 計		123,368,767
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 4,753,894
当期経常増減額		△ 4,753,894
税引前当期一般正味財産増減額		△ 4,753,894
当期一般正味財産増減額		△ 4,753,894
一般正味財産期首残高		39,592,864
一般正味財産期末残高		34,838,970
(指定正味財産増減の部)		
【受取寄付金】		
受取寄付金		135,000
【一般正味財産への振替額】		
一般正味財産への振替額		△ 1,194,300
当期指定正味財産増減額		△ 1,059,300
指定正味財産期首残高		108,961,158
指定正味財産期末残高		107,901,858
正味財産期末残高		142,740,828

財務諸表に対する注記

公益財団法人 神戸YWCA 自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日

1. 重要な会計方針

一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に準拠します。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施しています。ただし、建物については定額法で実施しています。

無形固定資産 定額法による減価償却を実施しています(電話加入権を除く)。

有形固定資産、無形固定資産ともに直接法で表示しています。

(3) リース取引の処理方法

賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税込み方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000			1,000,000
小 計	1,000,000			1,000,000
特定資産				
(指定寄付金)				
居住支援事業	0	130,000		130,000
100周年記念募金	300,000		300,000	0
夜回り準備会	70,000		70,000	0
被災者支援	29,000			29,000
指導者養成	502,120	5,000	6,000	501,120
神戸YWCA学院	534,720			534,720
神戸YWCA保育園	69,118			69,118
小 計	1,504,958	135,000	376,000	1,263,958
合 計	2,504,958	135,000	376,000	2,263,958

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	1,000,000		
小 計	1,000,000	1,000,000		
特定資産				
(指定寄付金)				
居住支援事業	130,000	130,000		
被災者支援	29,000	29,000		
指導者養成	501,120	501,120		
神戸YWCA学院	534,720	534,720		
神戸YWCA保育園	69,118	69,118		
小 計	1,263,958	1,263,958		
合 計	2,263,958	2,263,958		

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	123,082,189	58,920,506	64,161,683
器具及び備品	4,140,044	3,990,398	149,646
合 計	127,222,233	62,910,904	64,311,329

5. その他

職員の退職金支給にそなえるため、中小企業退職金共済制度に加入しています。

財産目録
令和5年3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金	手許保管	運転資金として	1,124,581
普通預金	三井住友銀行 三宮支店 NO. 1015232	運転資金として	6,367,607
	同上 NO. 8350060	運転資金として	4,176
	同上 NO. 8889763	運転資金として	216,098
	振替貯金 郵貯銀行 01100-0-10298	運転資金として	40,507
	同上 14380-20680301	運転資金として	8,735
		<現・預金計>	7,761,704
其他当座資産	UFJ信託銀行神戸支店 定期預金利息	運転資金として	8,410
棚卸資産	貯蔵品/切手、はがき	共用財産	23,413
立替金	まごの手	公・会員活動	1,478
未収金	まごの手等	公・介護事業収益等	11,846,531
流動資産合計			19,641,536
固定資産			
基本財産	定期預金 UFJ信託銀行神戸支店	管理運営に資するもの 運用益を管理運営に使用	1,000,000
特定資産	指定寄付金 三井住友銀行普通預金NO.9657246	居住支援事業	130,000
	現金保管 1,124,687円	被災者支援	29,000
	現金保管 139,271円	指導者養成	501,120
		神戸YWCA学院	534,720
		神戸YWCA保育園	69,118
		(特定資産計)	1,263,958
其他固定資産	建物 鉄骨造6階建て 会館	(共用財産)	48,257,205
		うち公益目的保有財産 96.19%	46,418,835
		うち管理運営に資するもの 3.8%	1,838,370
	会館1階 神戸YWCA保育園	公益目的保有財産	15,904,478
		<建物計>	64,161,683
土地	神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m2	(共用財産)	96,000,000
		うち公益目的保有財産 96.19%	91,380,952
		うち管理運営に資するもの 3.8%	3,619,048
什器備品	乳児用体動モニター他	公益目的保有財産	126,008
	事務所什器備品	管理運営に資するもの	23,637
	防犯設備一式	管理運営に資するもの	1
		<什器備品計>	149,646
電話加入権	7口	管理運営に資するもの	284,320
保証金	タイムズ24(株)・車両借受	公益目的保有財産	100,000
		<其他固定資産計>	159,695,649
固定資産合計			161,959,607
	うち公益目的保有財産		153,930,274
	うち特定資産		1,263,958
	うち管理運営に資するもの		6,765,375
資産合計			181,601,143

2022 年度全事業寄付金内訳について

事業および活動名	寄付金額
■神戸 YWCA 法人全体のために	3,847,234
夏季募金、冬季クリスマス募金他、寄付	3,253,485
ファンドレイジング実行委員会	480,365
キリスト教基盤委員会	113,384
■神戸 YWCA 公益目的事業	1,826,813
平和と人権センター 日本の「民主」社会プロジェクト、神福のはしごプロジェクト、100 周年記念事業実行委員会、愛農人倶楽部、マザースカレッジ企画会、夜回り準備会、平和活動グループ、ピースブリッジ	159,660
多文化共生センター 日本語事業（子ども日本語トータルサポート） 外国語事業	595,588
総合サポートセンター 神戸 YWCA まごの手（居宅介護、訪問介護、居住支援、生活支援わいわい）、神戸 YWCA 保育園、 つどい場事業（わいわいデイルーム、カフェもぐもぐ、木曜カフェ）、	1,065,555
公益目的事業全体のために	6010
2022 年度寄付金受入額	5,674,047

指定寄付金について

指定先	前期末残高	当期寄付額	当期支出額	期末残高	備考
100 周年記念募金	300,000	0	300,000	0	100 周年記念誌作成のため使用した。
夜回り準備会	70,000		70,000	0	活動費として使用した。
被災者支援	29,000	0	0	29,000	
指導者養成	502,120	5000	6000	501,120	日本 YWCA プログラム参加費として使用した。
居住支援事業	0	130,000	0	130,000	居住支援事業
神戸 YWCA 学院	534,720	0	0	534,720	
神戸 YWCA 保育園	69,118	0	0	69,118	

監査報告書

公益財団法人 神戸YWCA

理事長 平山 芳子 殿

令和 5年 5月 20日

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川 関 敏 恵

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川 邊 比 呂 子

私たち監事は、令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月 31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



神戸 YWCA ホームページ : www.kobe.ywca.or.jp/top



神戸 YWCA フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywca



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywcacollege



ツイッター @KobeYWCA



インスタグラム : [kobeywca](https://www.instagram.com/kobeywca) / [kobeywcacollege](https://www.instagram.com/kobeywcacollege)

公益財団法人 **神戸 YWCA**

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。